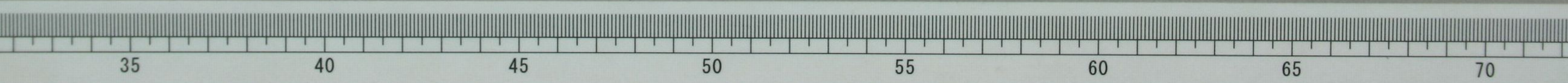


大匠
繪樣
雜工
雛形
下

本
22
22

多
1910
2 止



多
1910
21

槌打盤之割

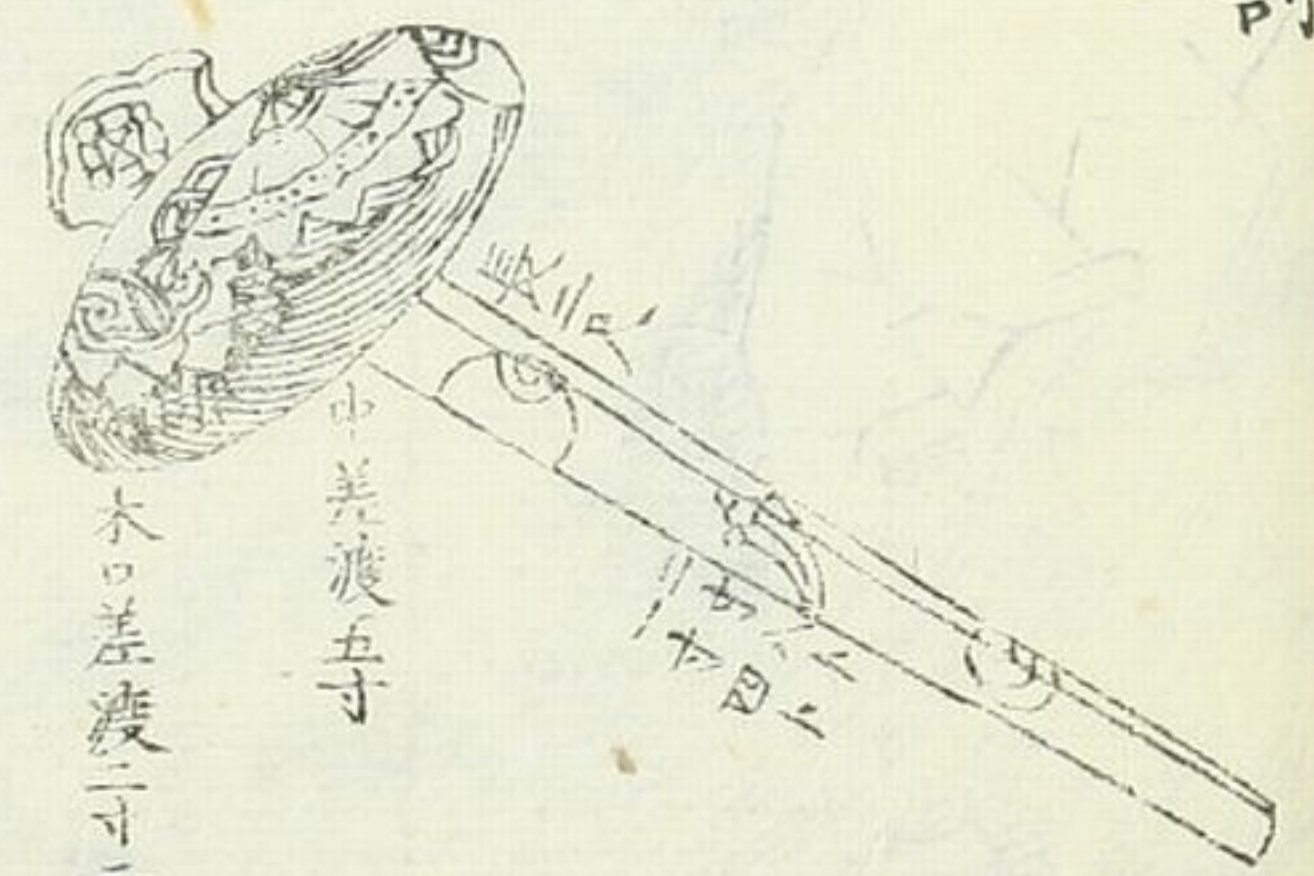
幣盤大

壹尺
壹尺二寸
厚三寸

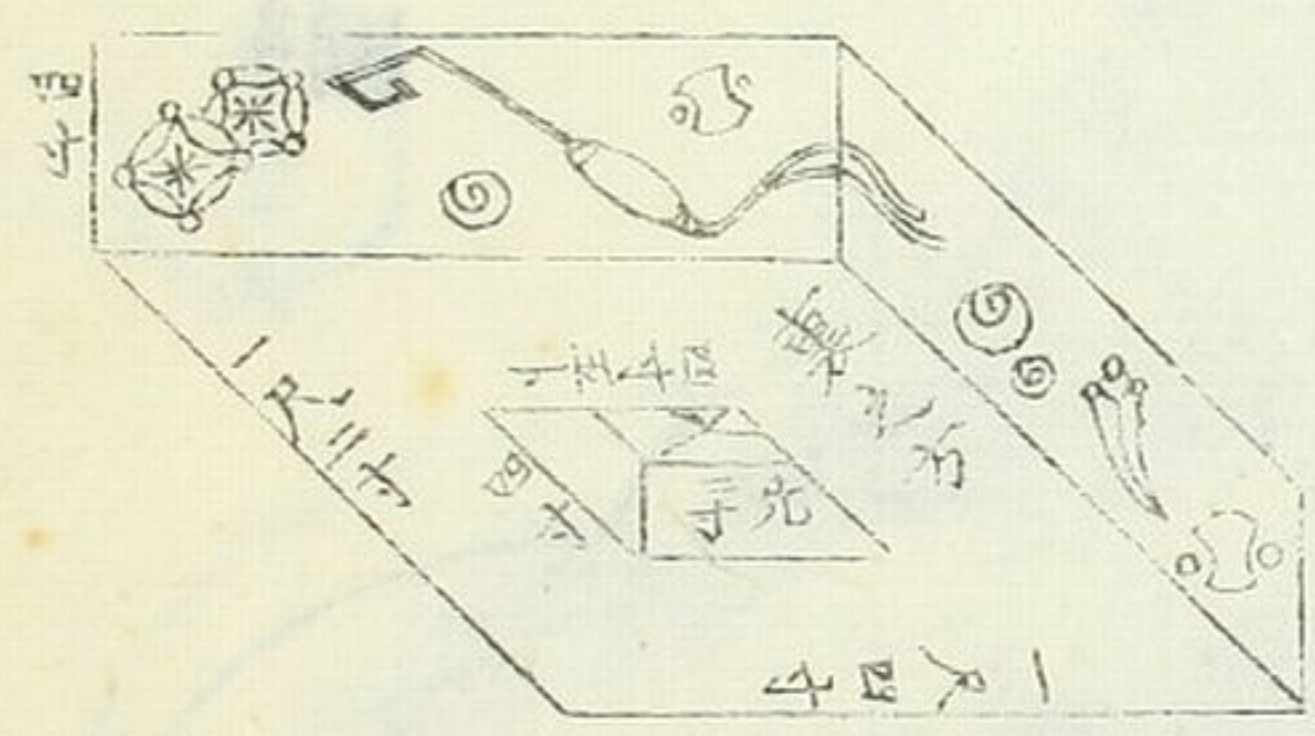


規式

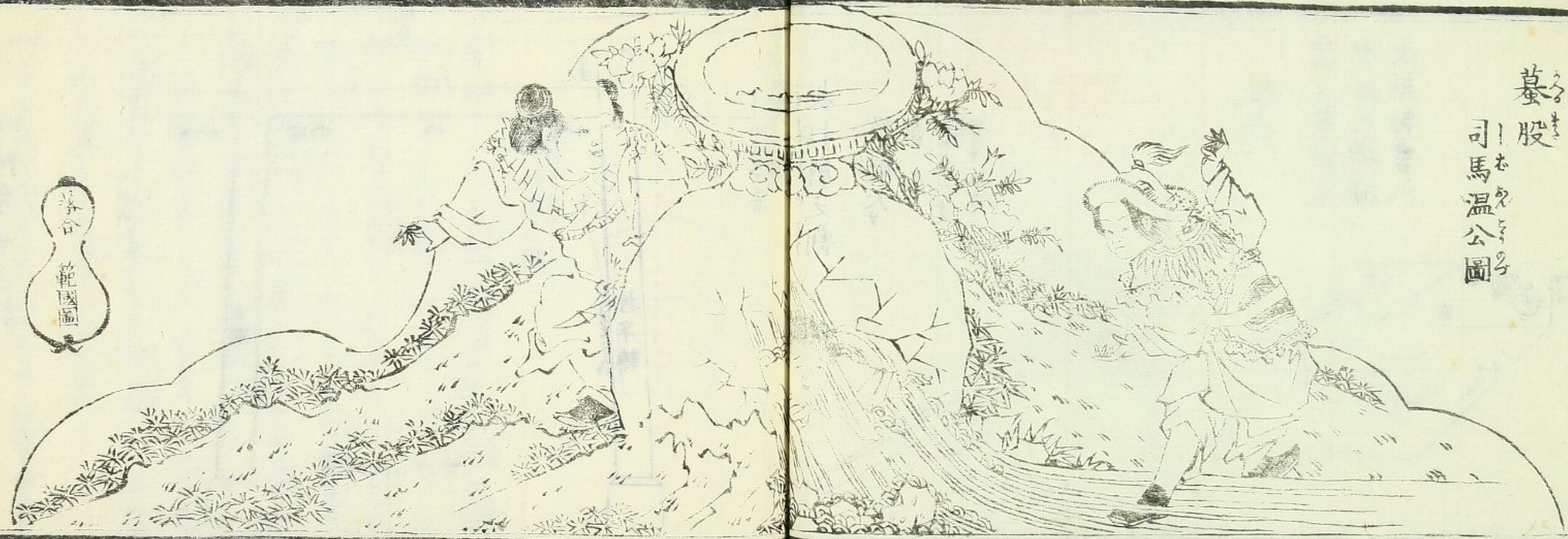
置上極彩色
寶珠之模様
金銀粉書入



小差渡五寸
木の差渡二寸下

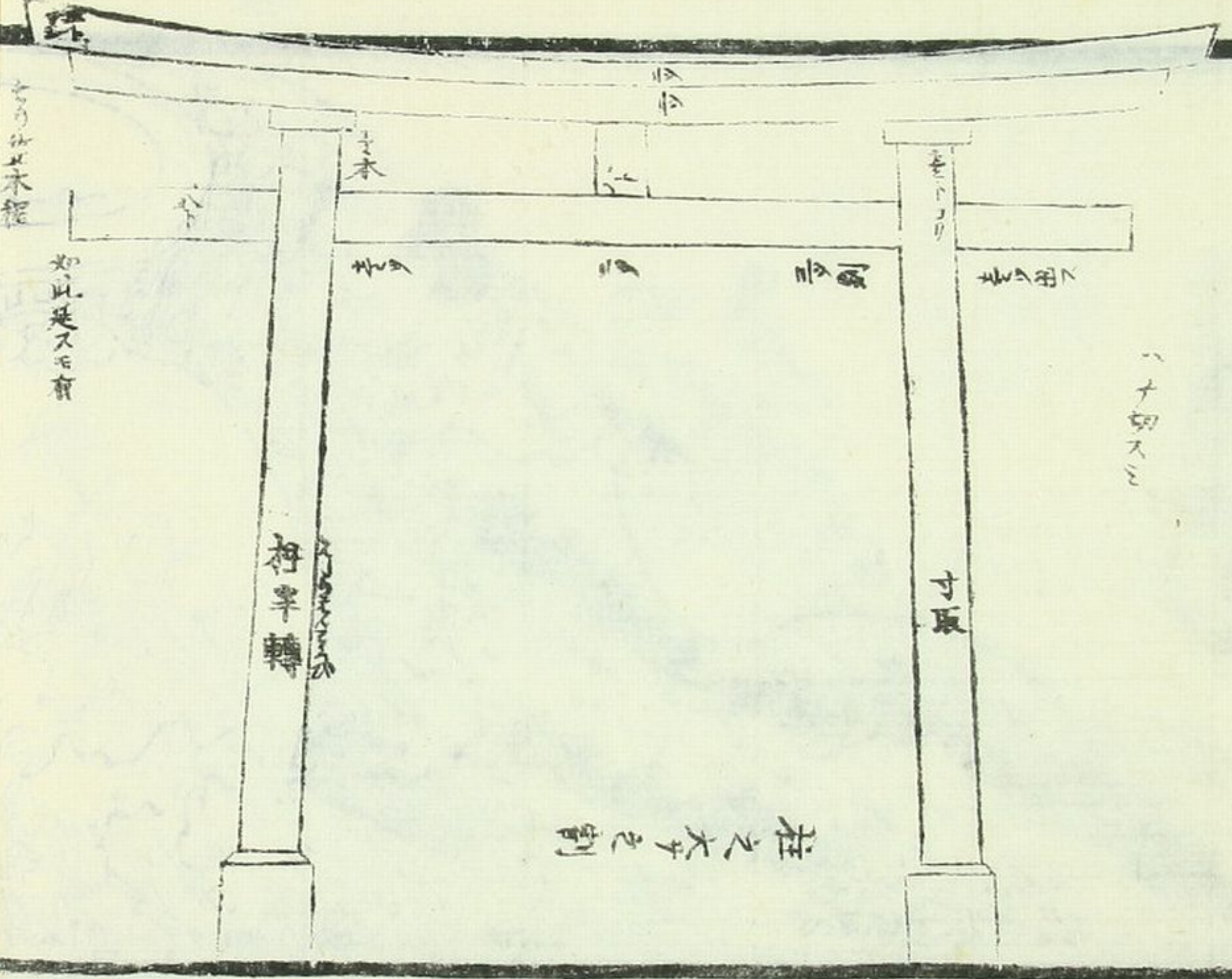


墓股
司馬溫公圖

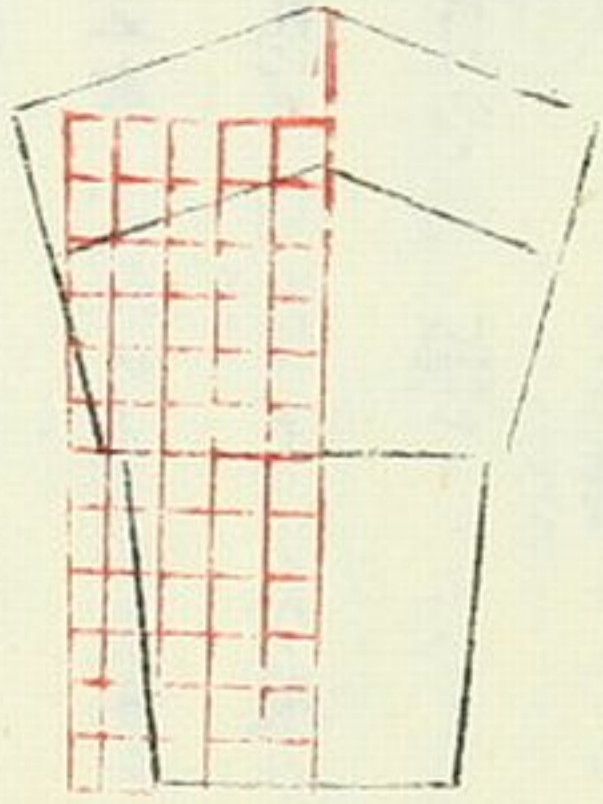


善合
乾坤圖

明神鳥居之割



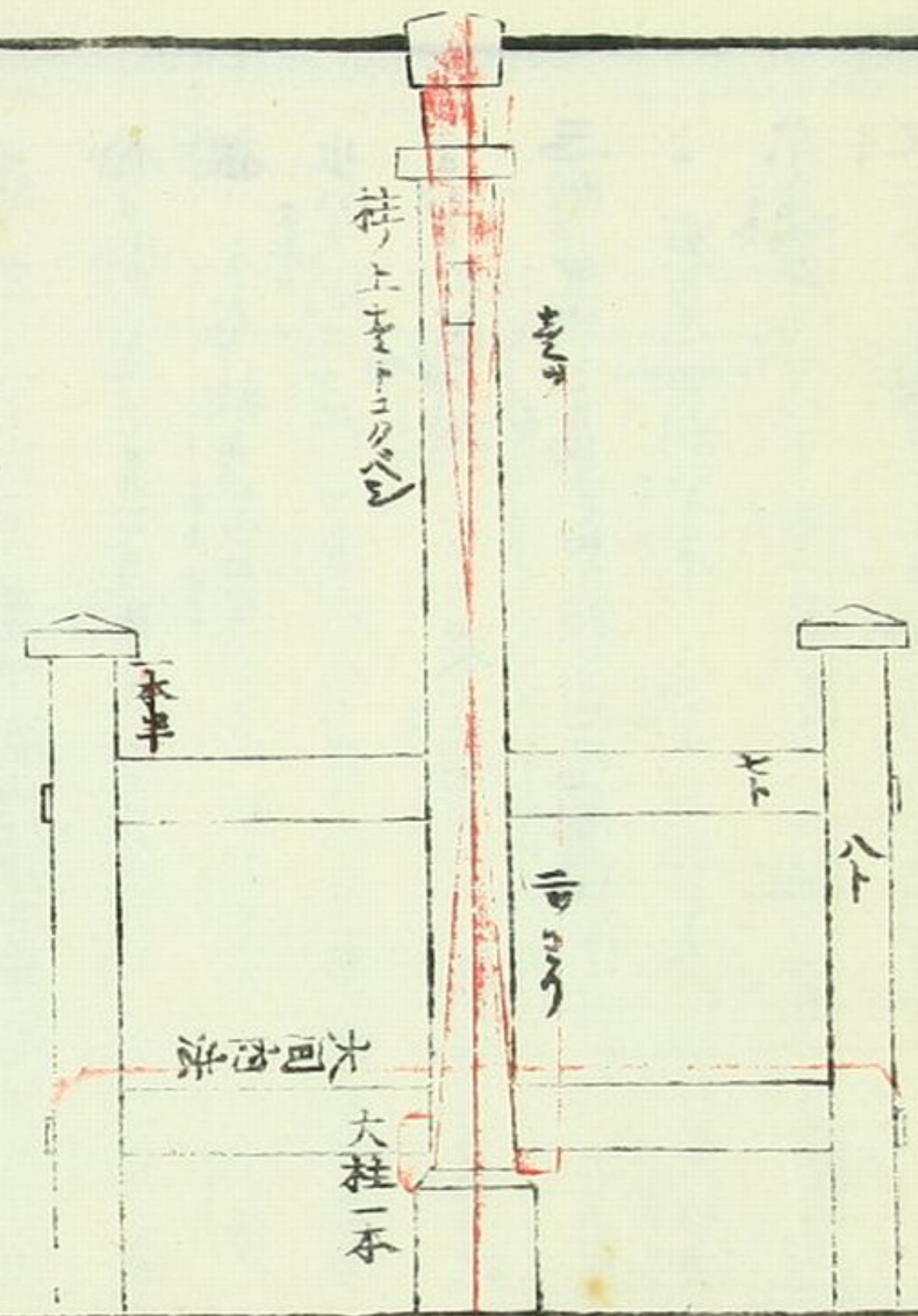
古風柱木之割



諸鳥居之割

一 高根たかね根ねといふ上ハより貫下くわんげ内法四角也柱大が内間うちま拾割しゅうかくと云ふ寸取といふ之又大八分表うらの作也根ねといふ大柱おほしちゆう長目貫ながめくわんの柱ちゆう十より八厚あつの三割さんかくの出入いしゆり大間おほま三割さんかくの束の大貫おほくわんの寸取と厚貫あつくわんの面内めんないすむの柱ちゆうの樽たるの寸取すんしゆかへ今いま基もとの市八柱いちやちちゆうの重目貫おもめくわんの柱ちゆう三割さんかくの柱ちゆうと島木しまぎ少すくの柱ちゆうと又家根いえねなまの柱ちゆう三分さんぶんの右みぎ五割ごかくの柱ちゆうと島木しまぎ三分さんぶん也と云ふは切きりの柱ちゆうの通とほ尤なほ鼻はな三分さんぶんの寸取すんしゆ有ある木きの寸取すんしゆと有ある寸取すんしゆの寸取すんしゆ諸しよ工こうの寸取すんしゆと云ふは余あまの寸取すんしゆと云ふ也何なにと云ふ木元社きもとやしろの右みぎ寸取すんしゆと云ふは今いま右惣みぎそう高たかさる所ところの寸取すんしゆと云ふは高下たかした付つけ

多喜雨喜墨の仕様
并四ッ足の割



四ッ足の割

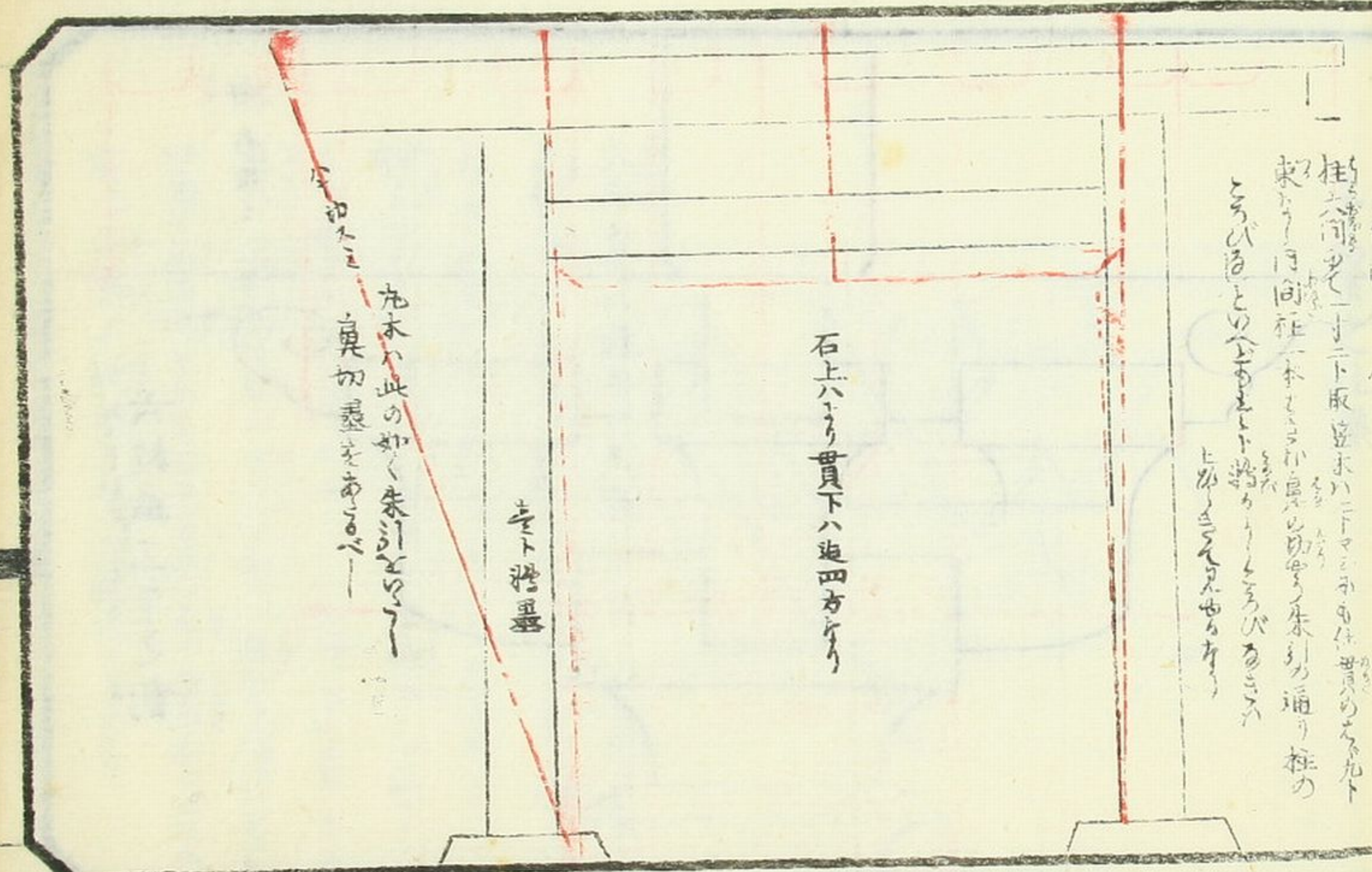
一柱大サ大柱の八ト也貫の中七ト厚ニ小柱ニッ
割とッ笠木小柱の裏の目あつと貫は断
上の貫の高サ 通貫下バより根のこトハ造ニッ
コト也下貫の高サ根のこトハより大柱一本樫中
ハ大同内法より大柱持ハハ中ふい

柱六間して二下取並木ハ二下マカも柱貫のこト九ト
束なり同柱一本とさ小貫の切替と朱引の通り柱の
とらびるとのこト下取よりとらびるこト
上かきんんせむなり

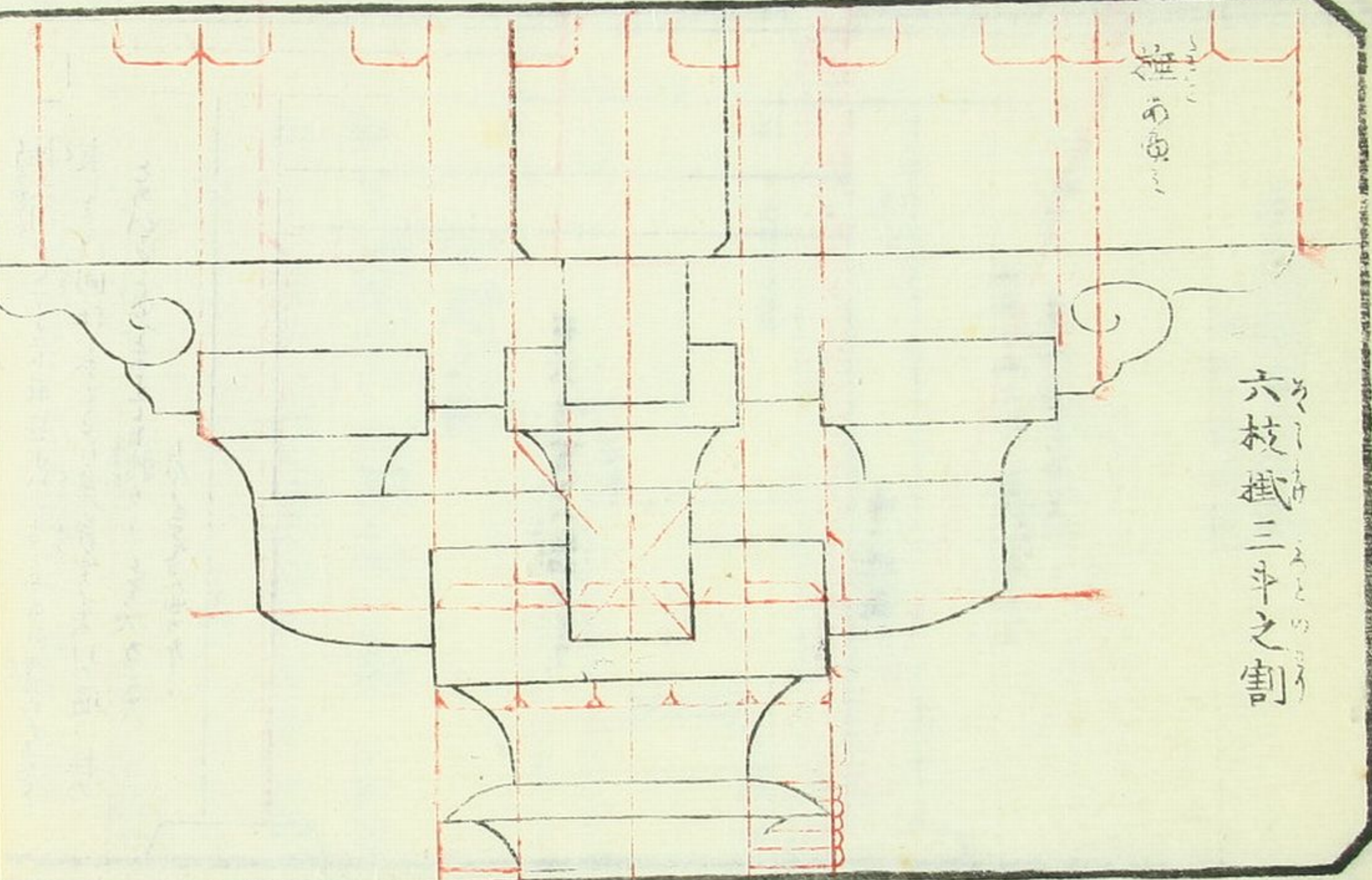
石上ハより貫下ハ造四方より

下下樫墨

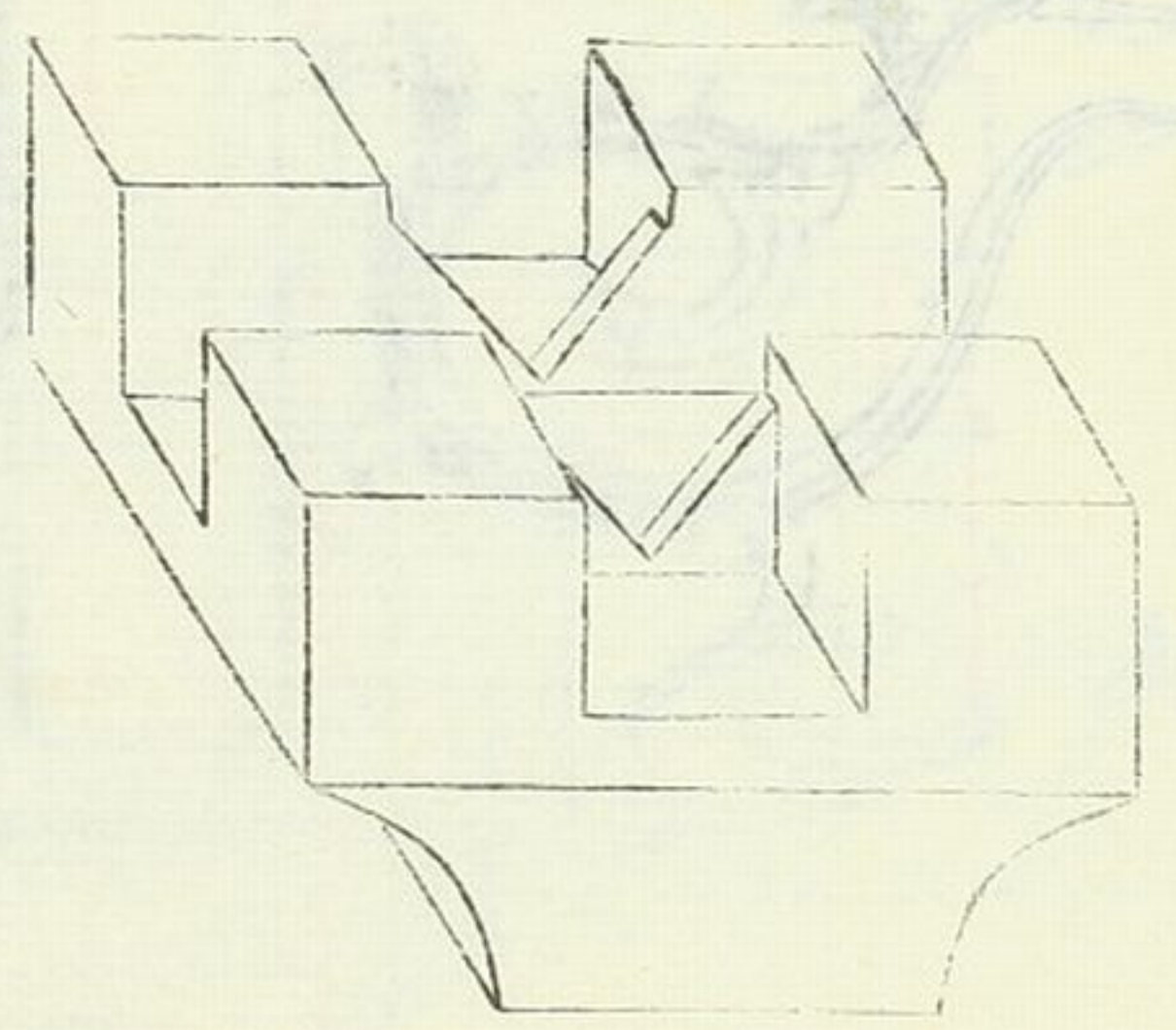
丸木ハ此の如く朱引とらび
真切墨をあらわし



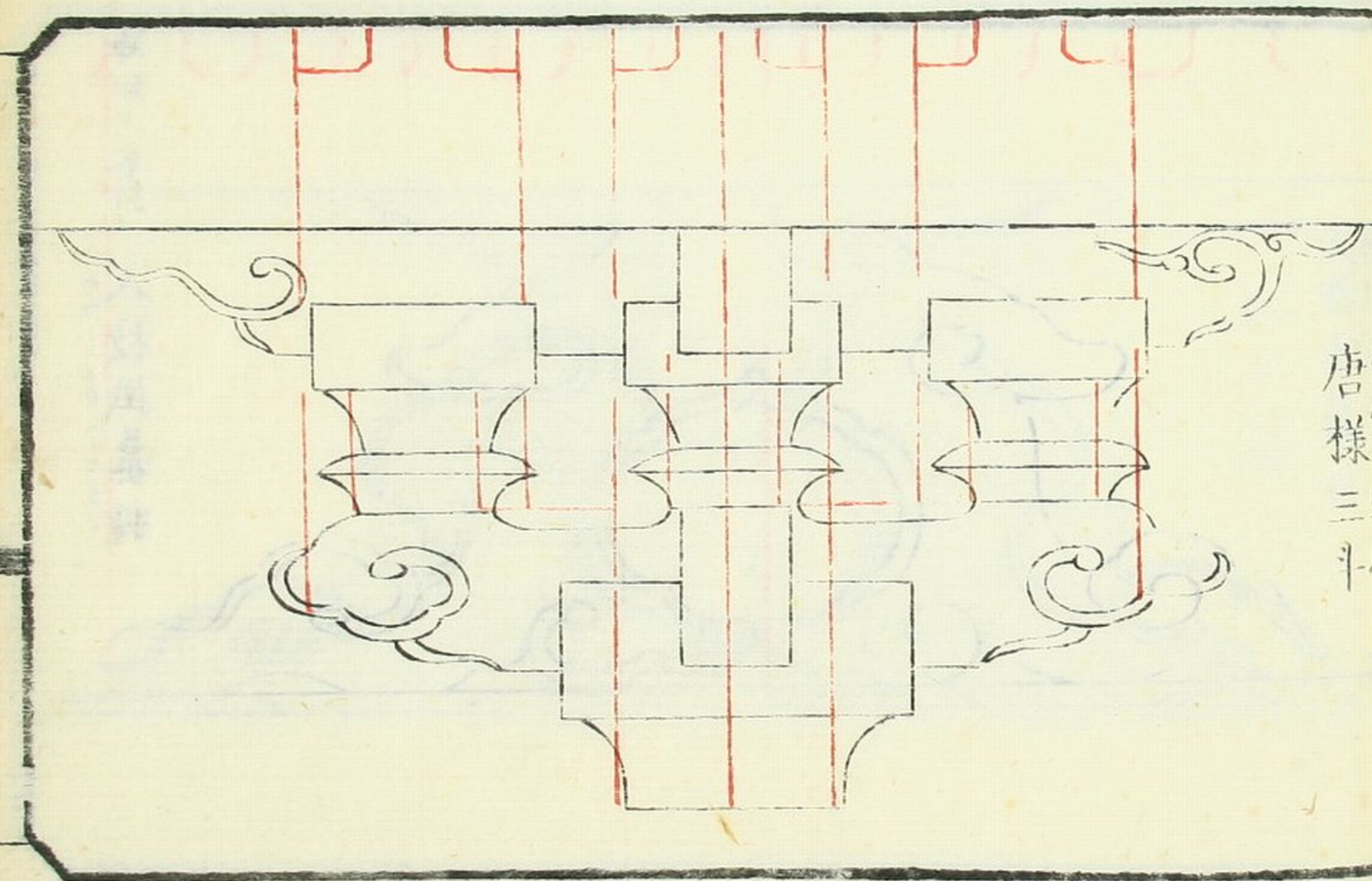
六枝楓三斗之割



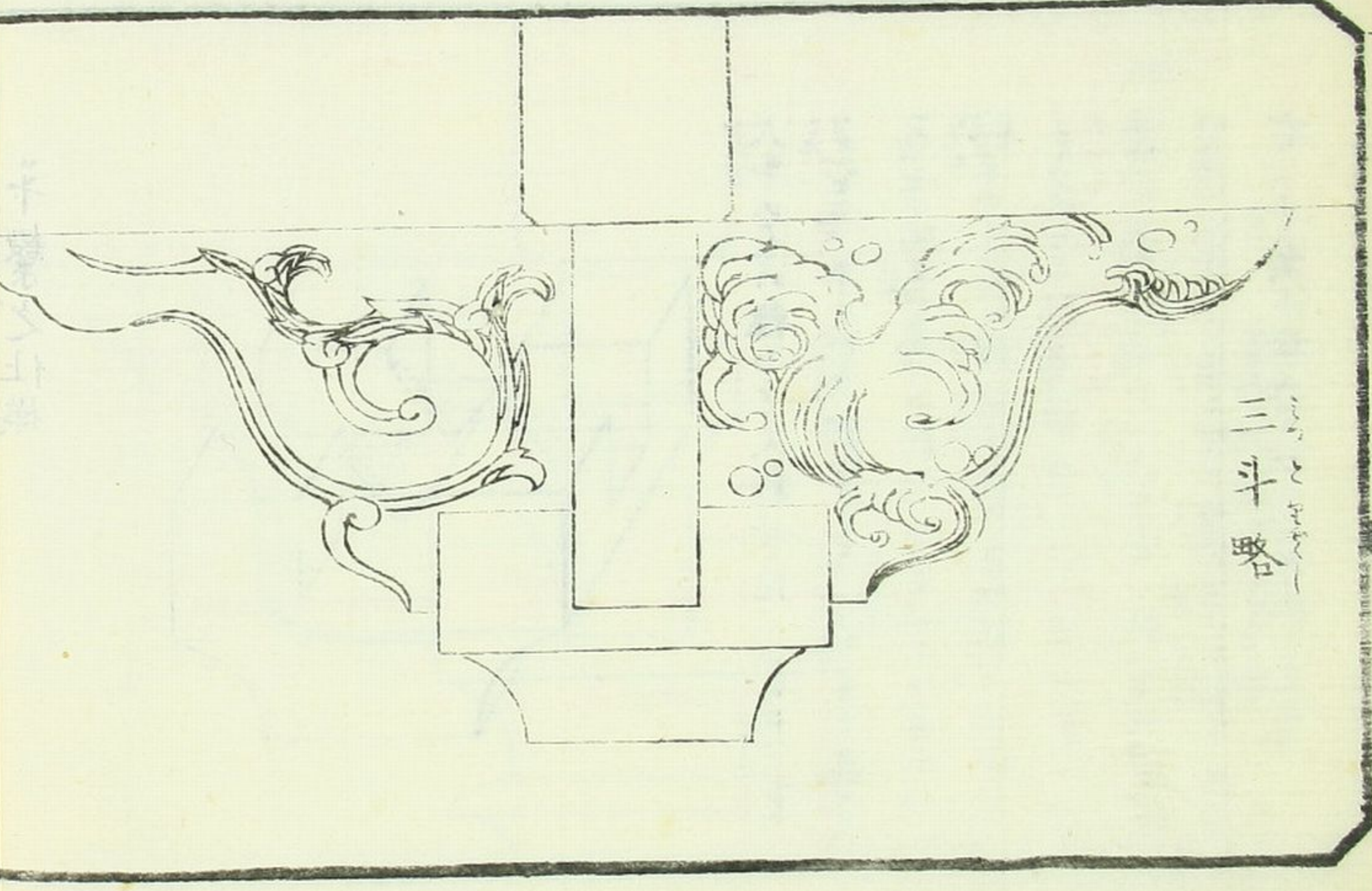
斗繫之仕様



一 大斗の下の柱を又柱二下は（小の作）
 是と五斗半又の五斗刻ゆき（高）
 二斗半也是と五斗刻二斗半也（高）
 肘木のえりけの辨肘木の中大斗様中二斗半也
 是と也七斗二下は（高）
 卷斗の刻大斗は四斗半の辨ひら上本のひき
 四斗用之又と七斗半も是の異の斗半卷斗をわかひ
 右二斗の下の柱を又柱二下は（高）



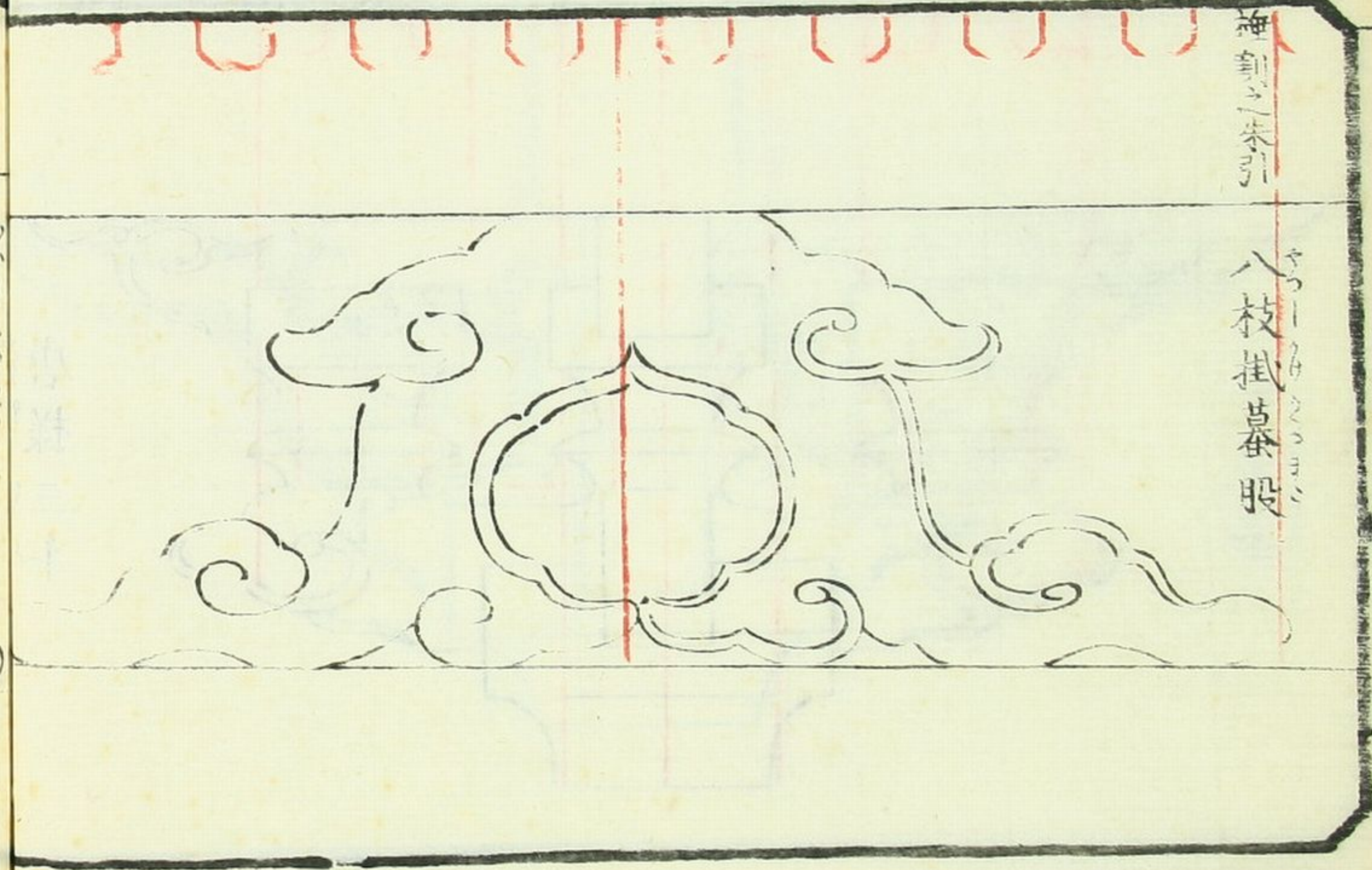
唐樣三斗



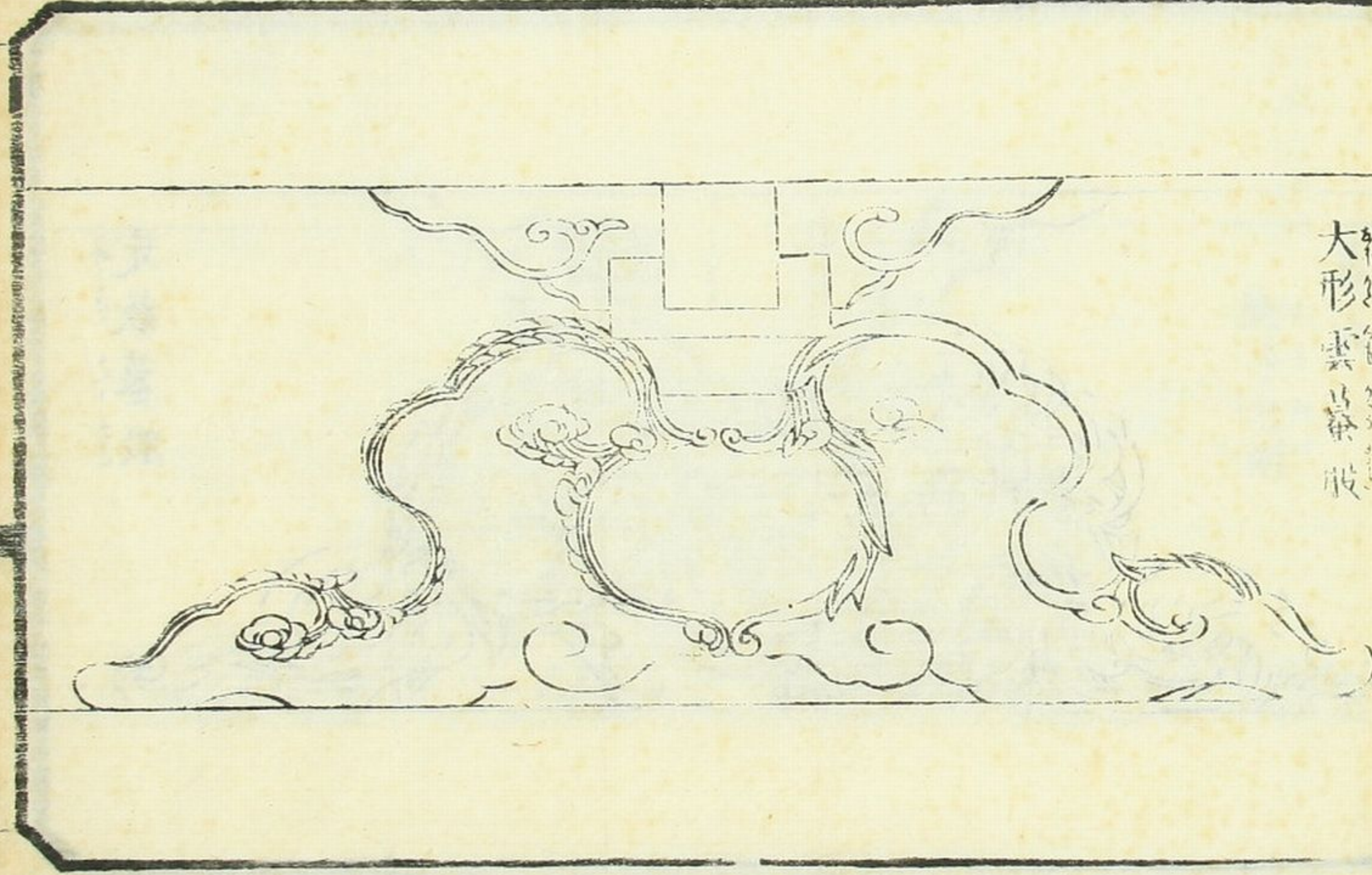
三斗略

海
引
一
朱
引

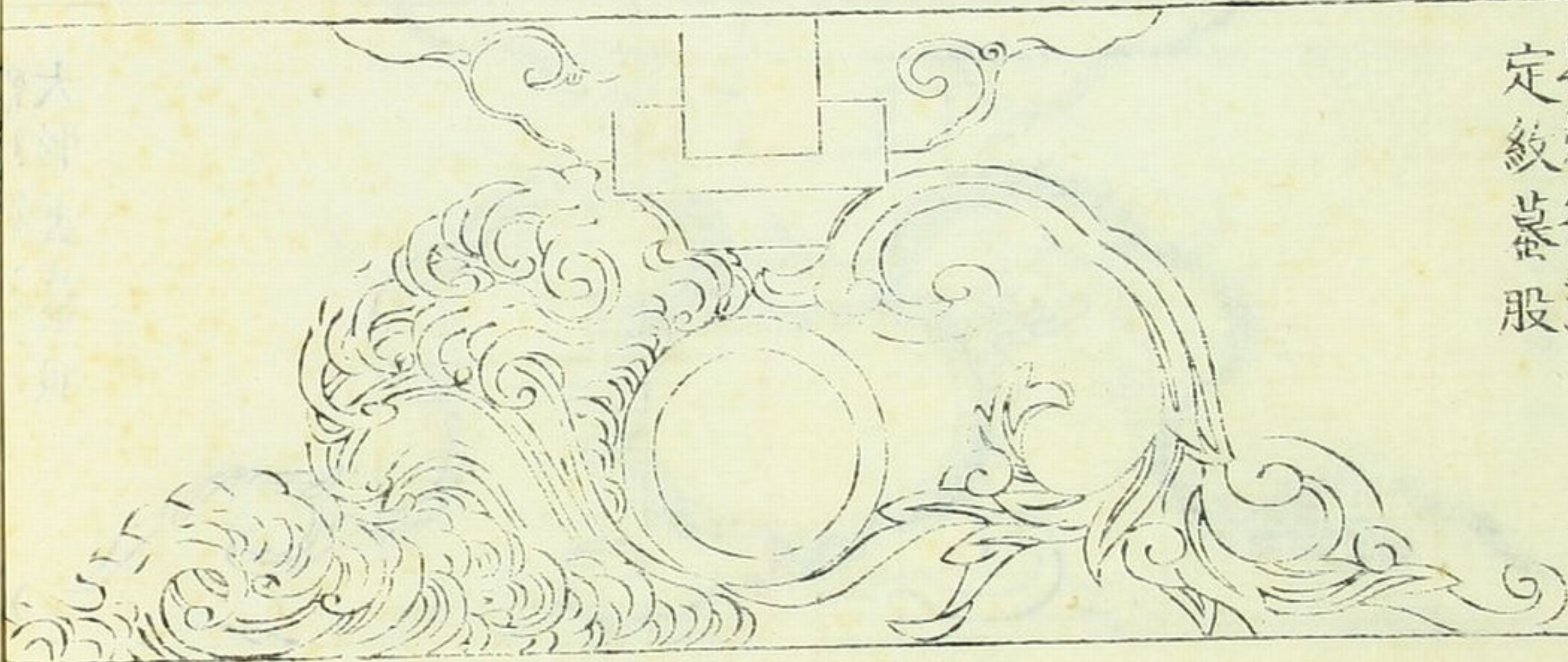
八
枝
掛
幕
股



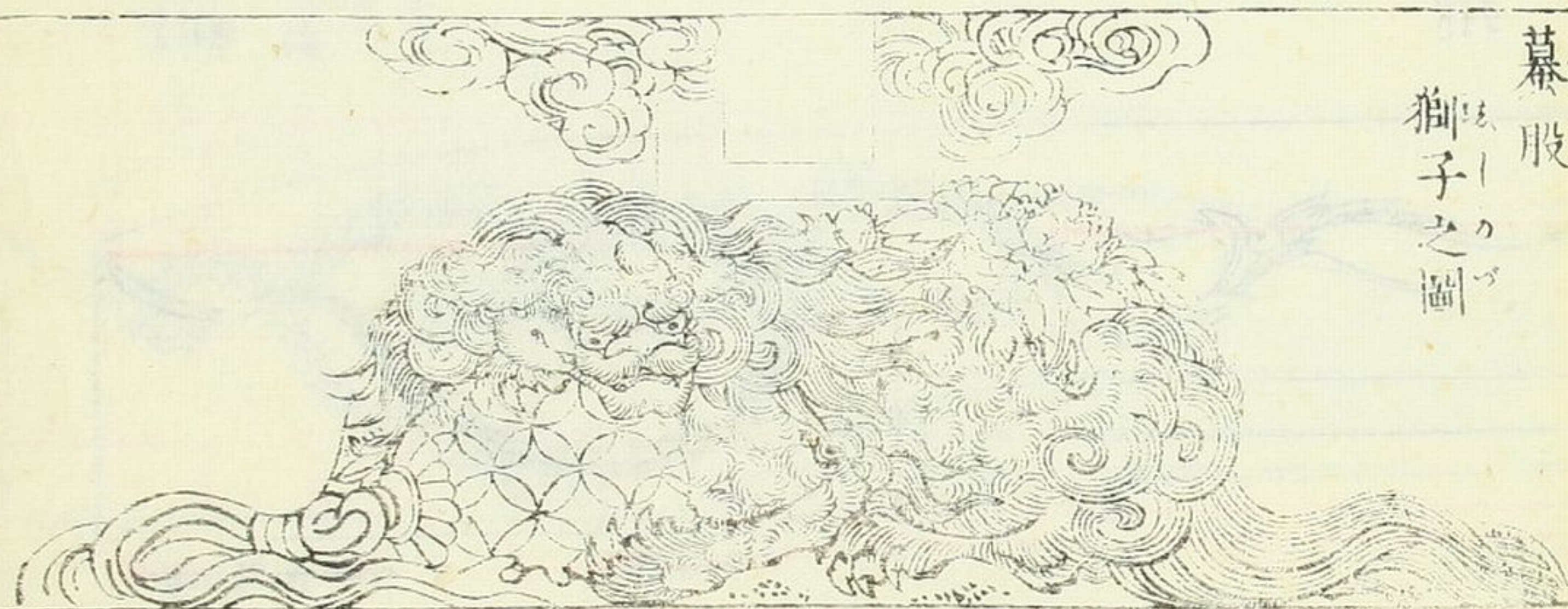
大
形
雲
幕
股



定紋幕股



幕股
獅子之圖



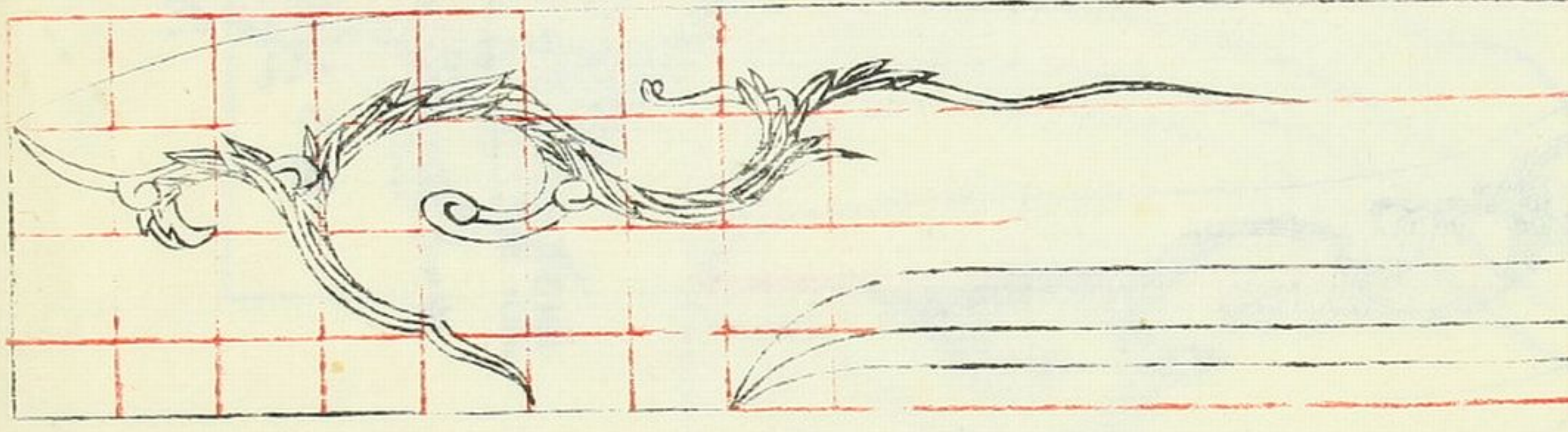
虹梁之割



書真時本後

信割之朱引

如此亦も割なり
四割一ツの墨
かかやう小増様
書込下

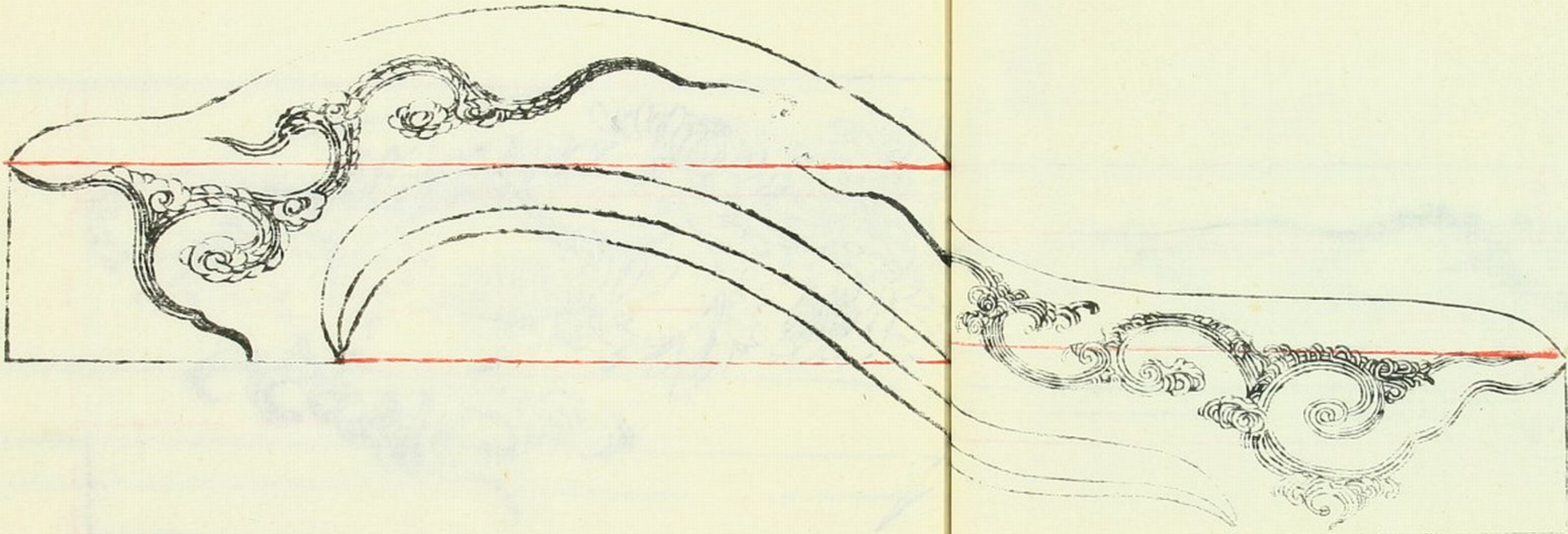


三十一

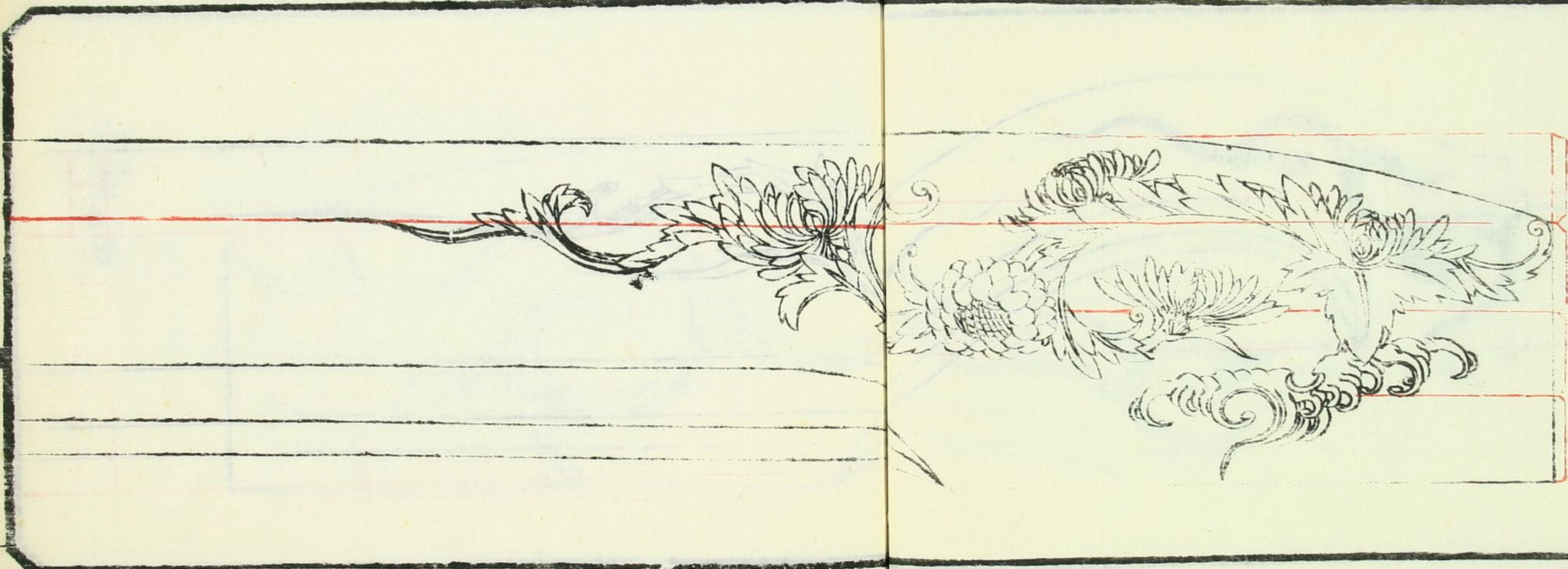
海老虹梁

雲水の圖

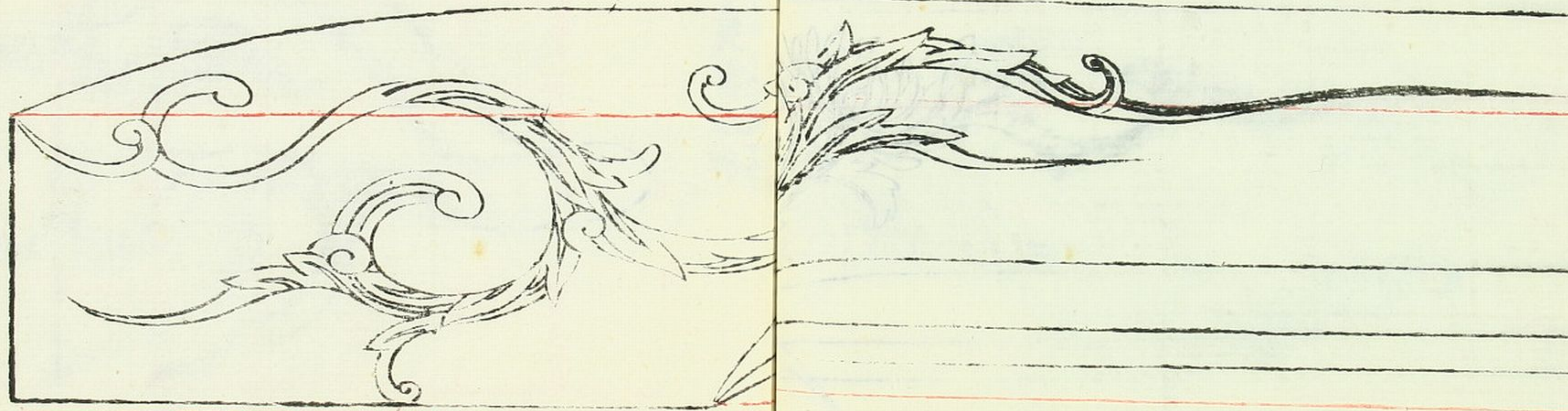
一 大舟八下 下端七ト也
上ふはし有文
下りふかき朱引の通
裏と八作べ



菊之虹梁



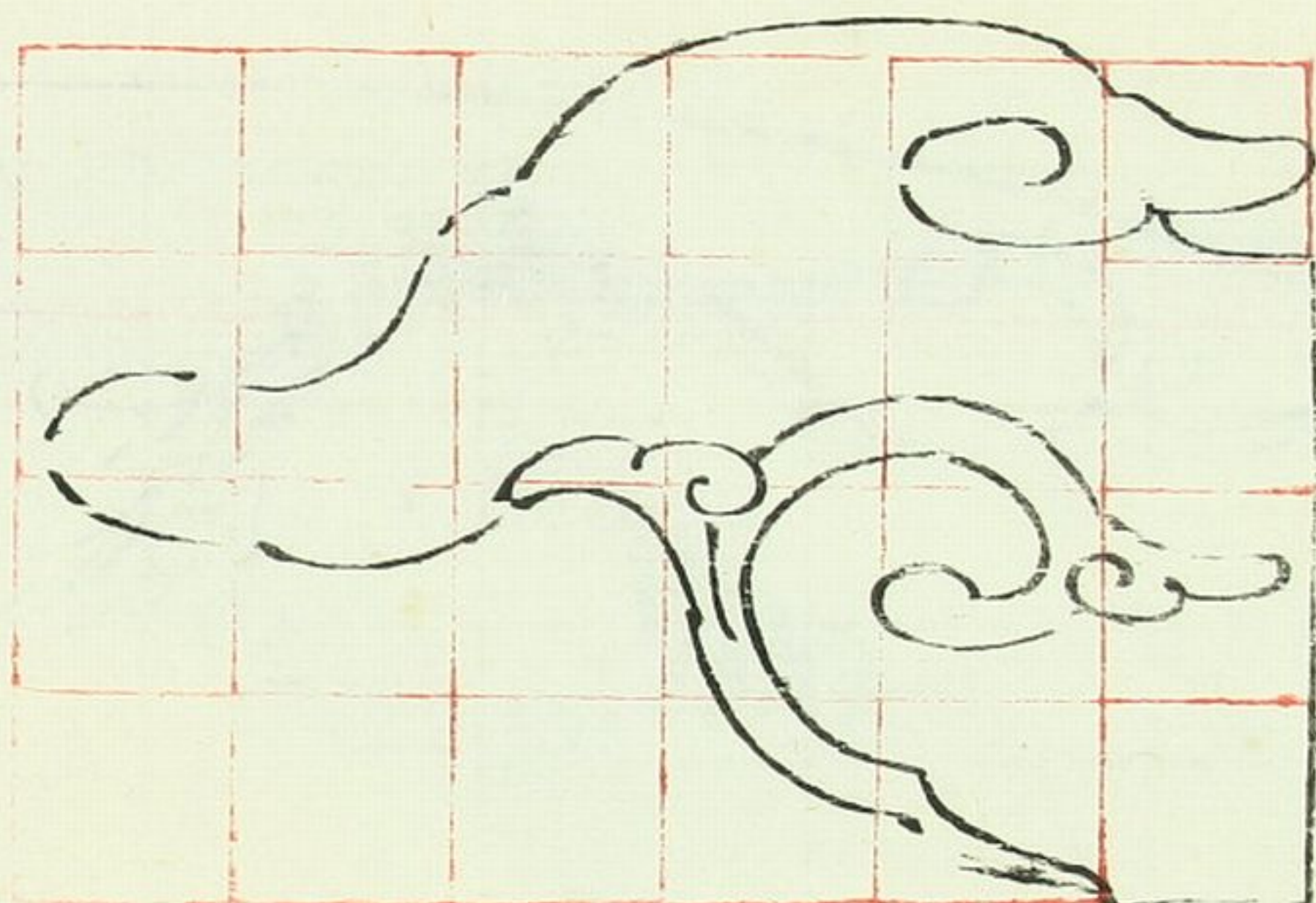
若葉虹梁



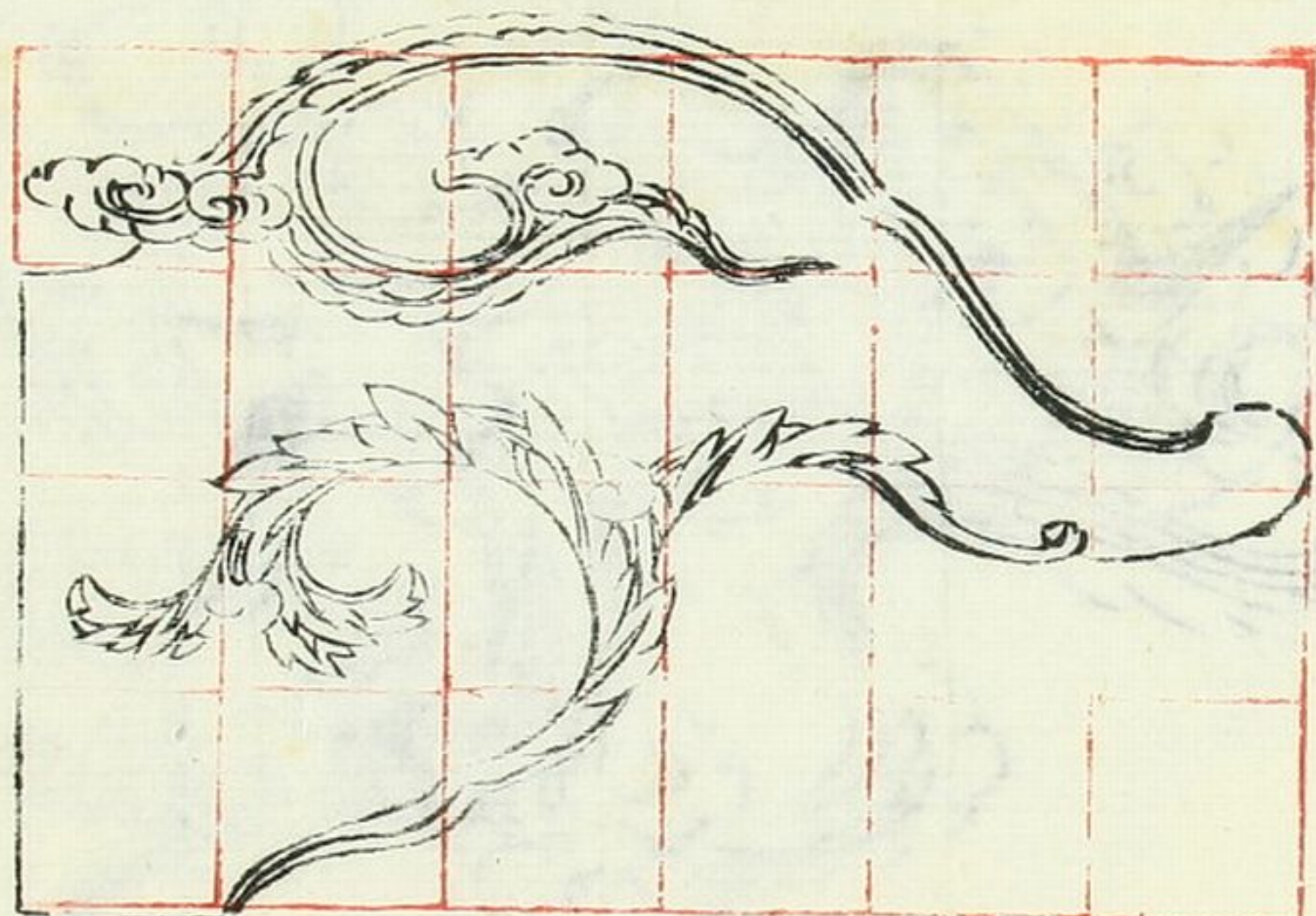
若葉虹梁

木自鬼之割

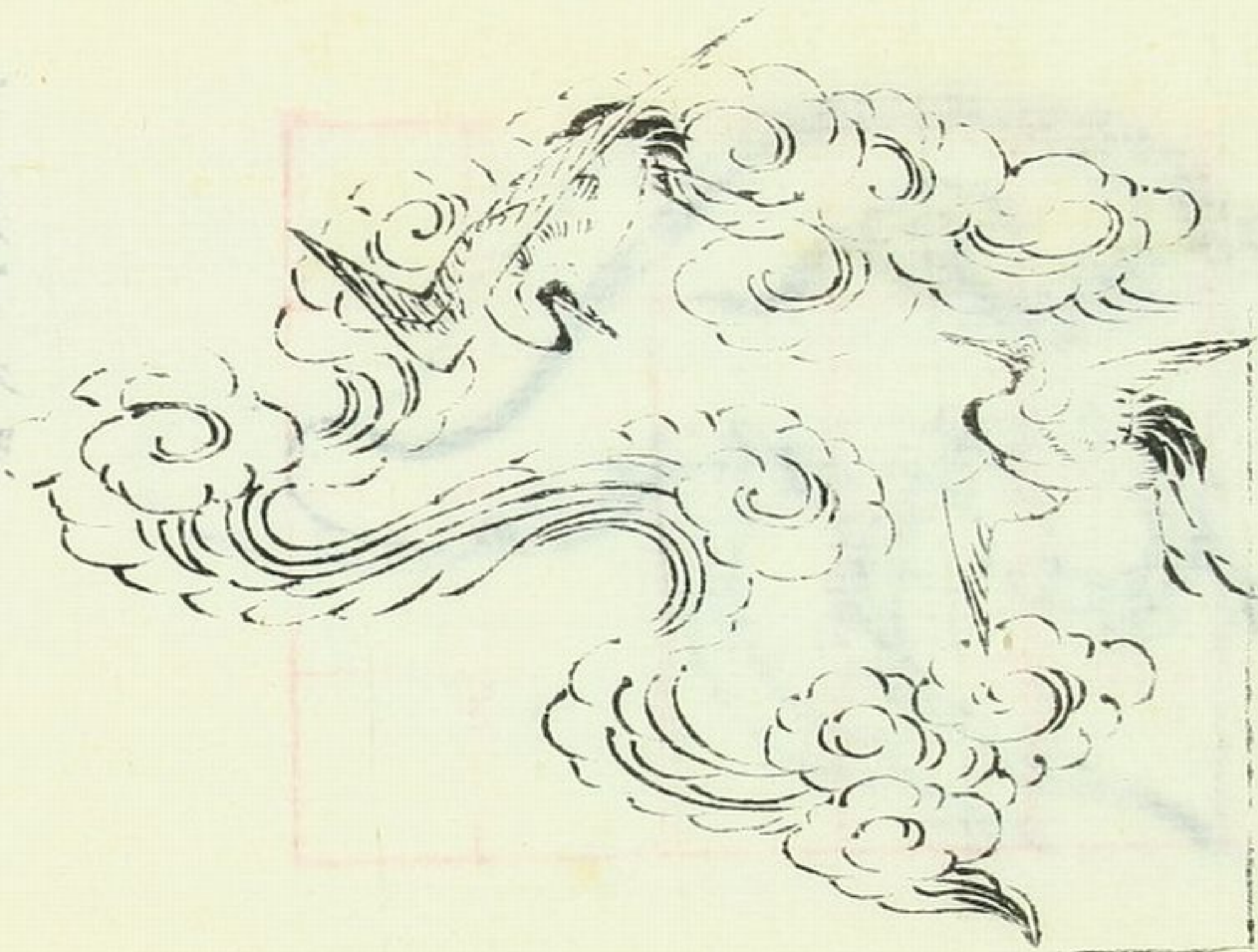
虹条幅四割之
朱引小書



木自鬼之割

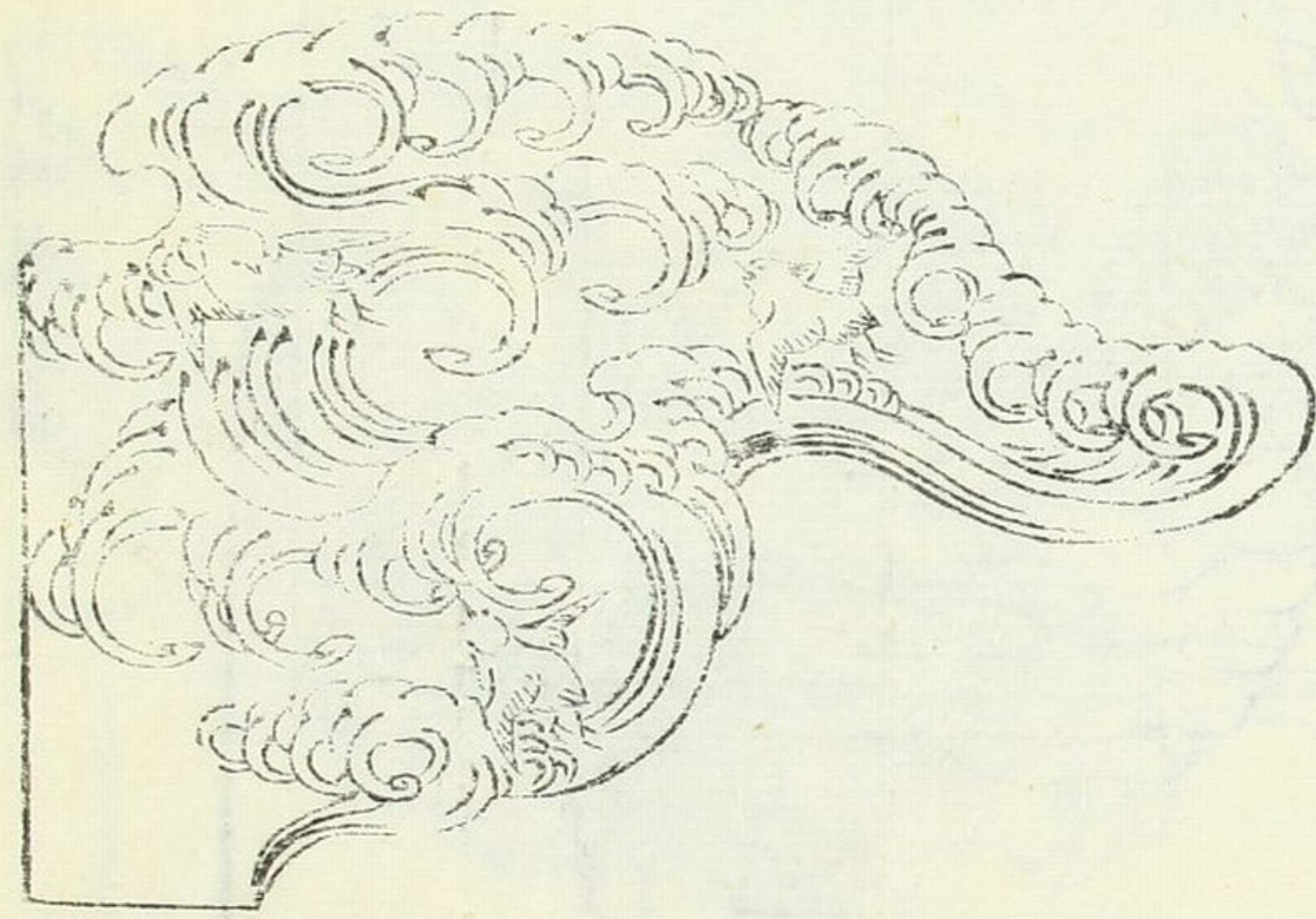


雲鶴之木鼻うんかくのきび

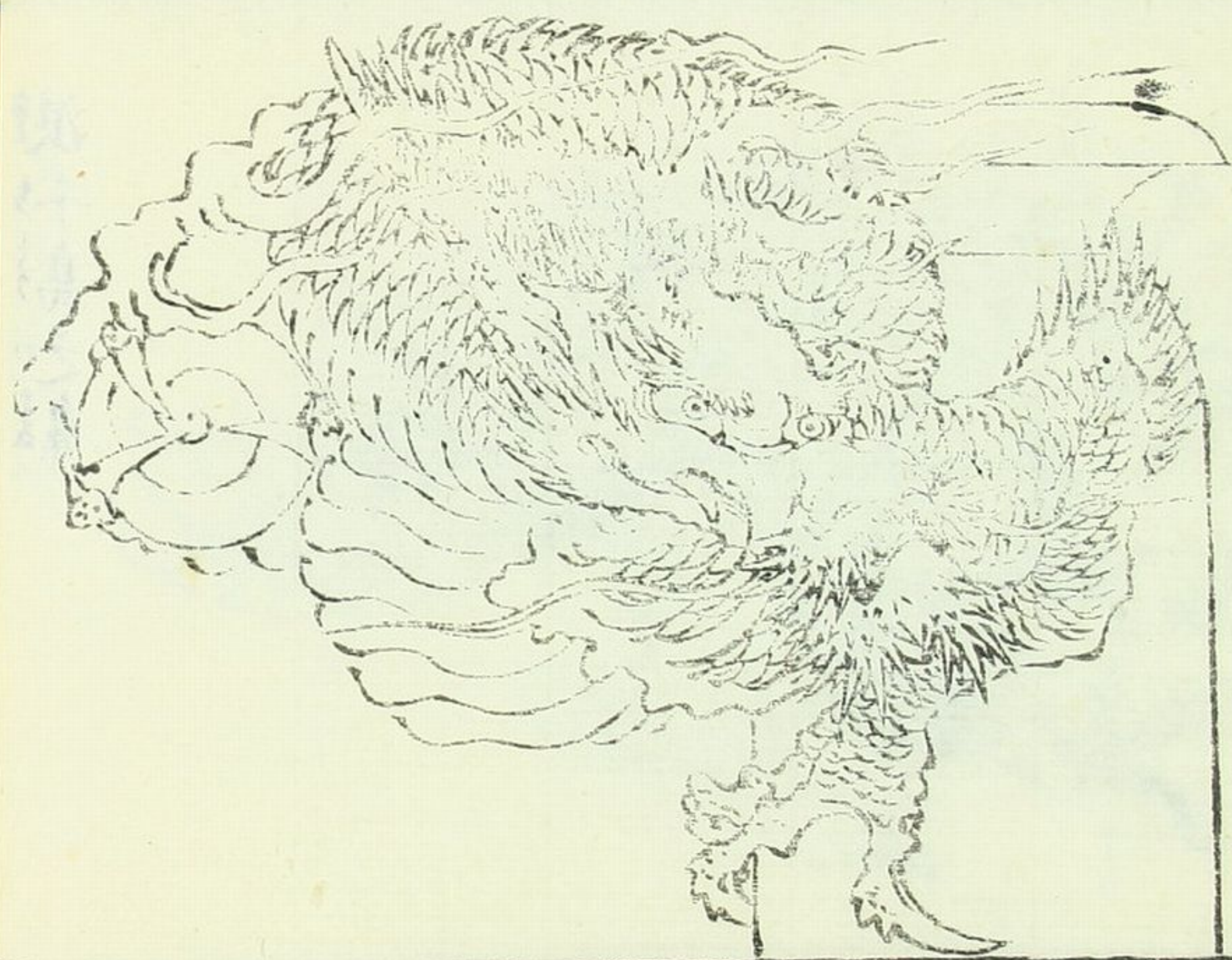


木鼻きび

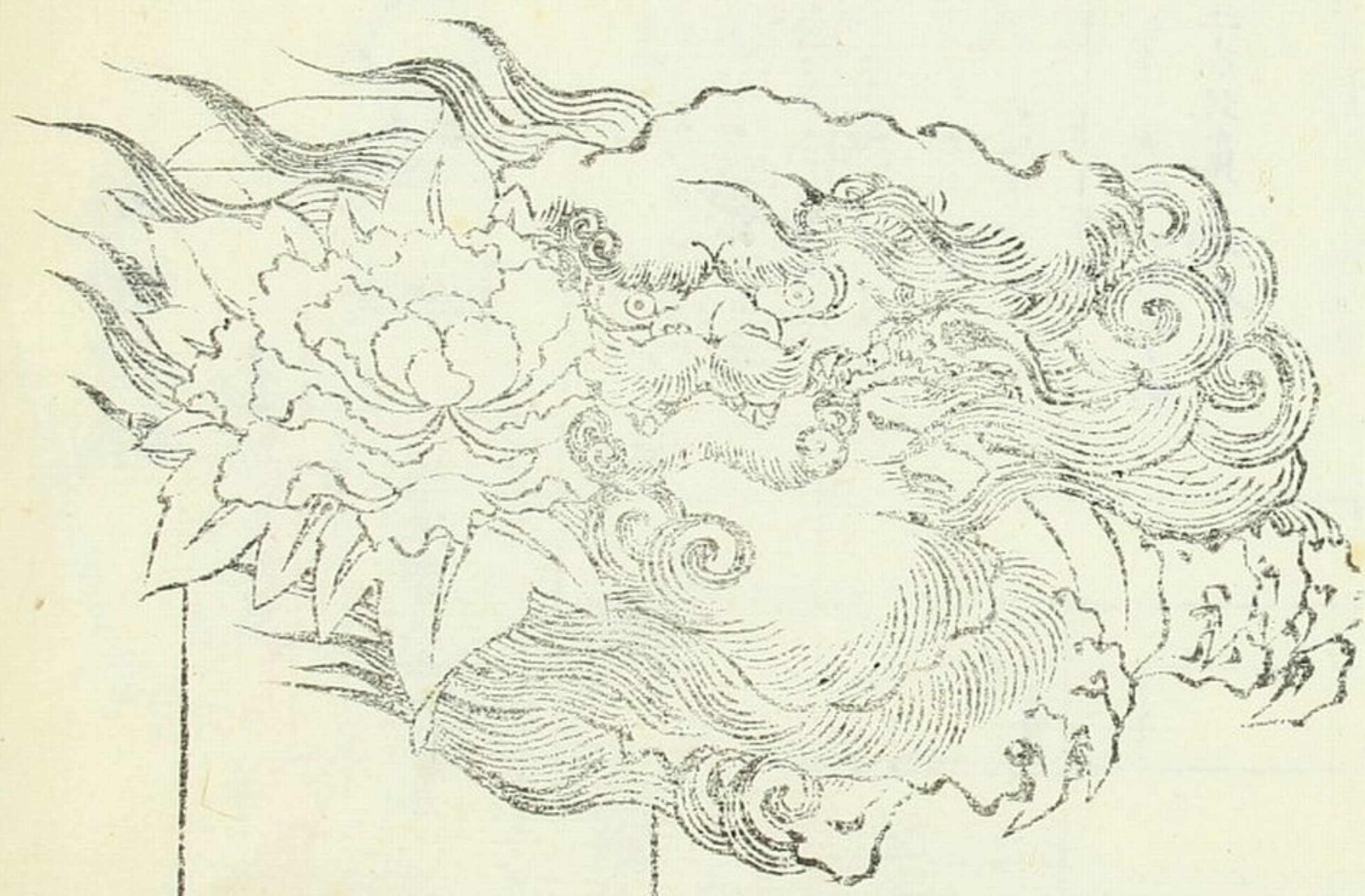
浪千鳥之鼻なみちりこのび



見歸龍之白泉



牡丹獅子鼻



高欄之割



至木下八七本半

大サ地腹之裏の目の丸

高欄高サ本七本半

大サ地腹の太サ

本下二木の角を

平折の間 本七ト

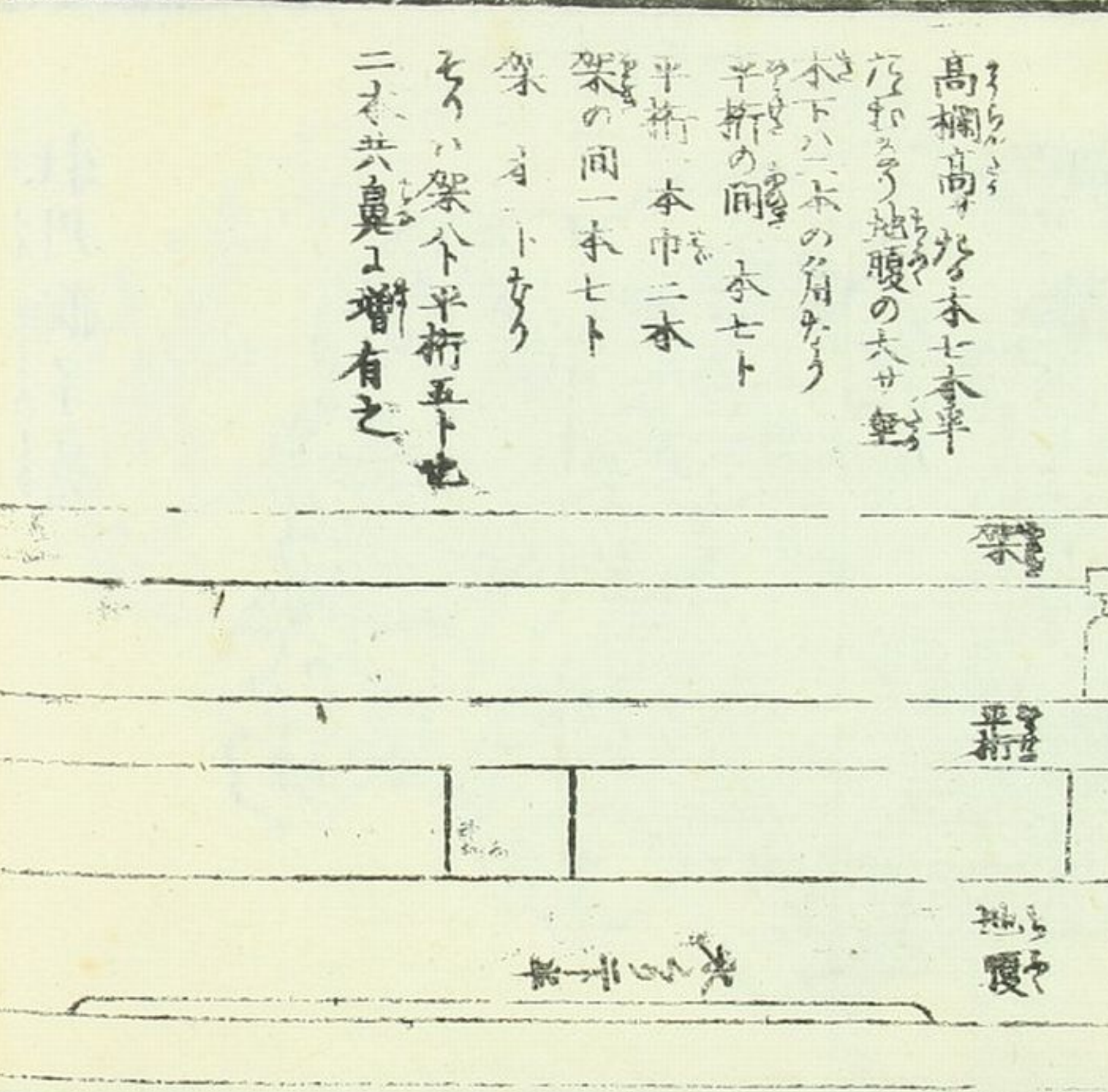
平折 本中二本

架の間一本七ト

架 一本七ト

その架平折五ト也

二本共裏に増有之



舂束柶束之割

大サ地腹と平折の間

一本七ト

架の間一本半

舂形の高サハト

舂束の留様ハ地腹

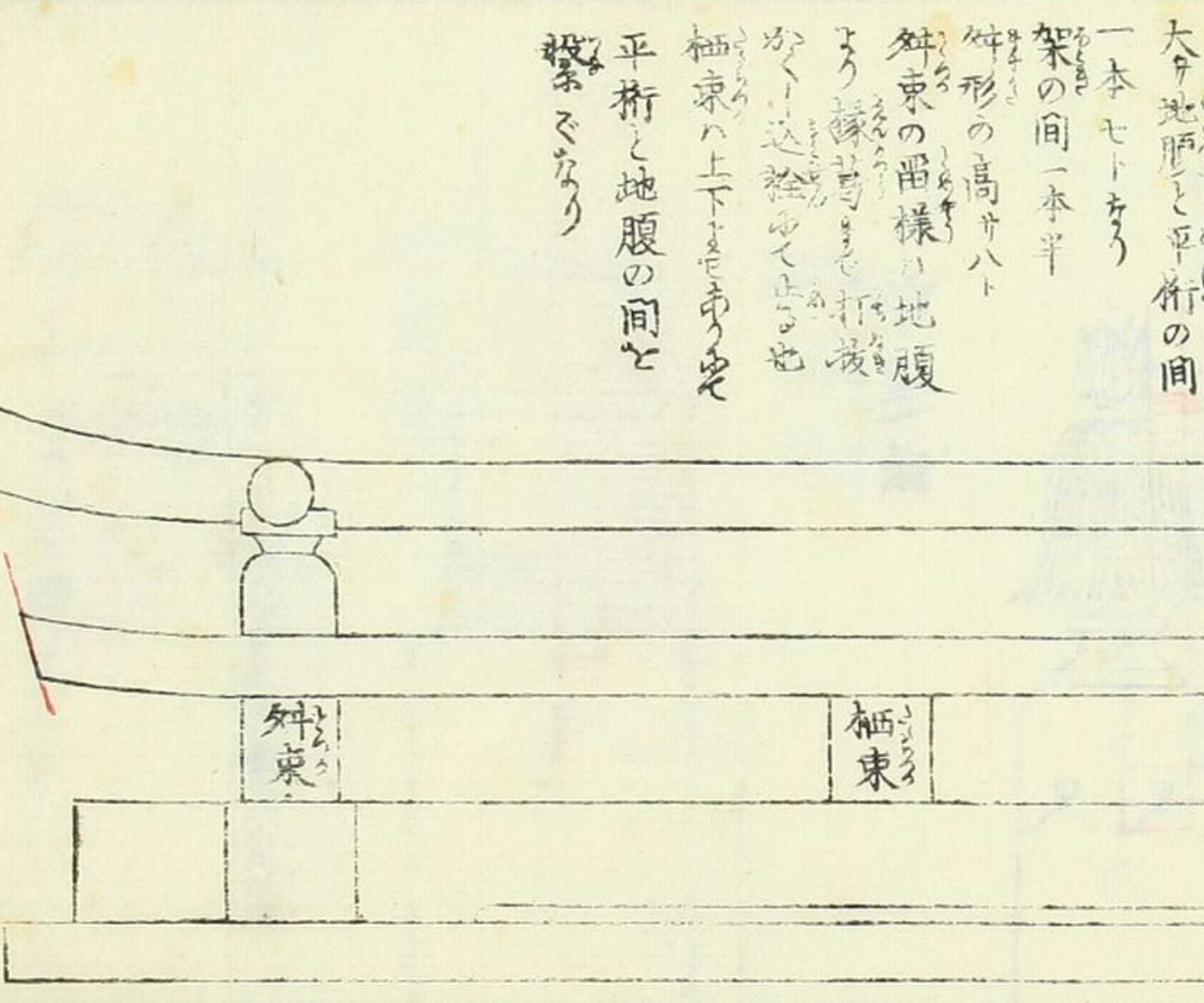
より縁草を打放

かへ込給ゆく止る也

柶束ハ上下ともあり

平折と地腹の間と

柶束をなす



三寸勾配の立水

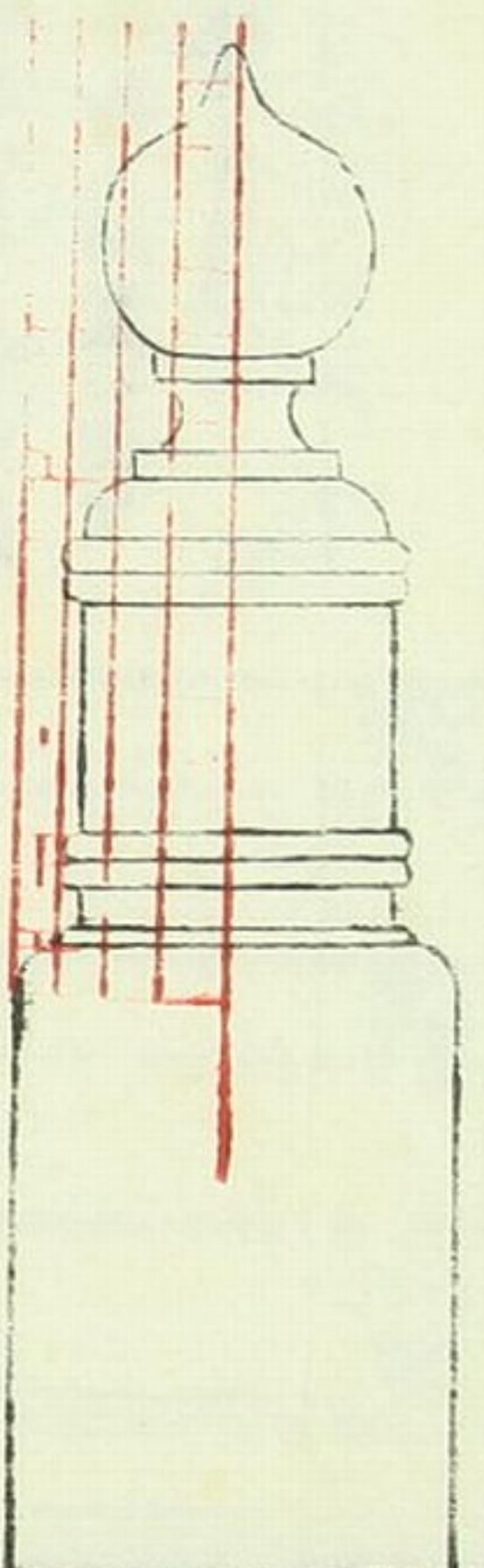
寶珠之割

一 鐵物大サ柱の七下也

是を六ッ小割下一ッ

下の止頭一ッ 册四ッ

上の節一ッ 止リ一ッ 玉壺二ッ 五五合テ五也



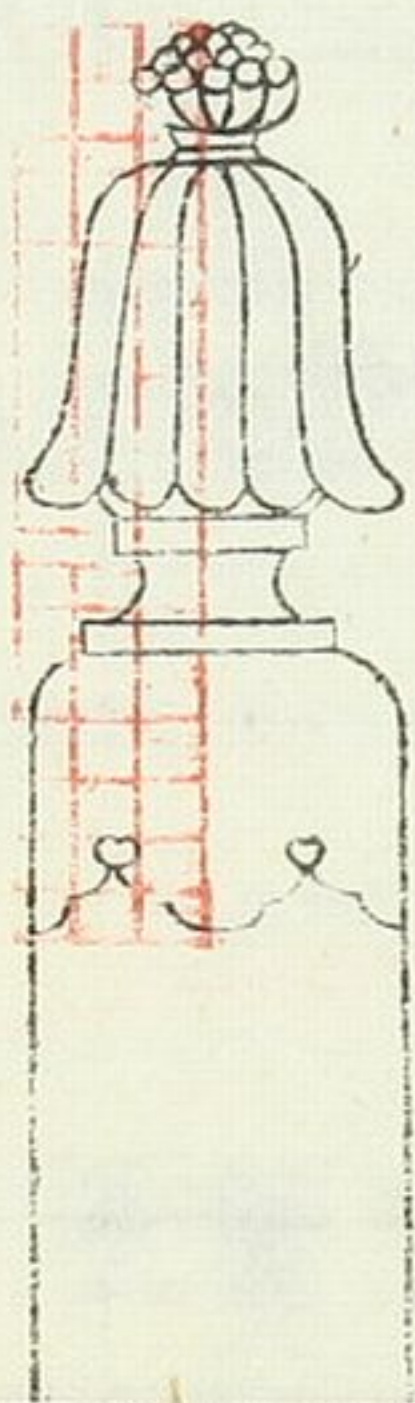
迎蓮頭



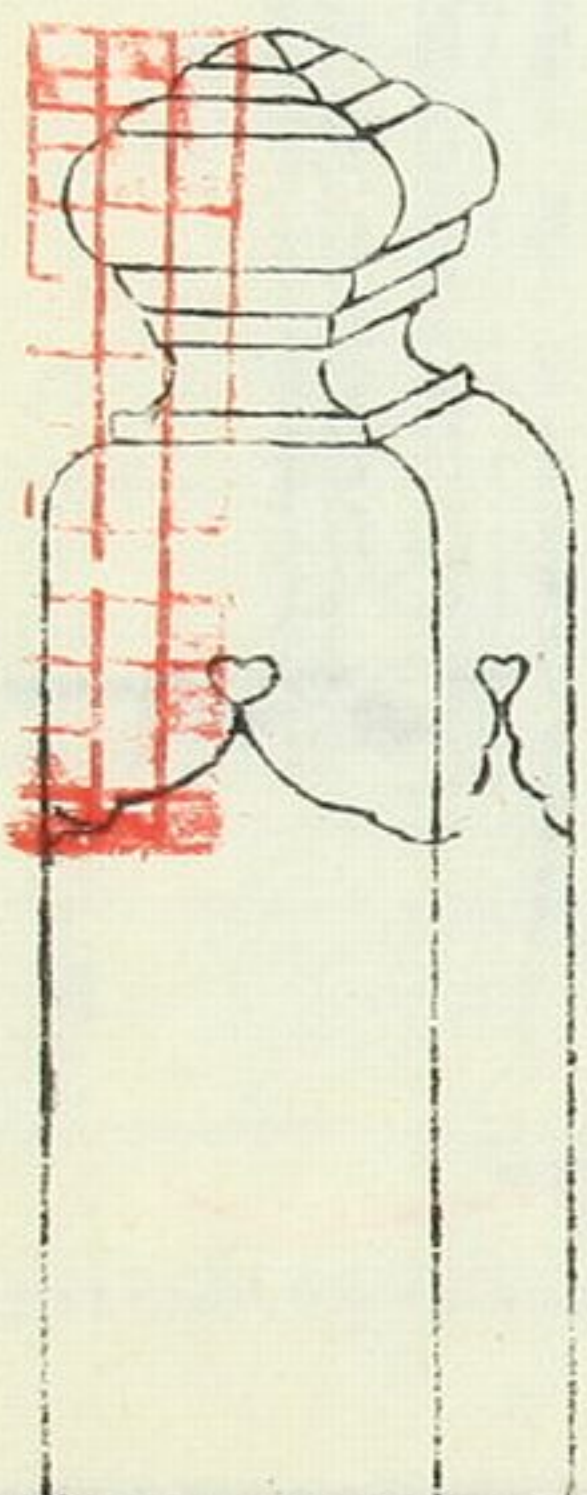
右宝珠之割種有之高欄小形也
 如手抄有之時ハ同形也
 此の如き方リ品目前の如し

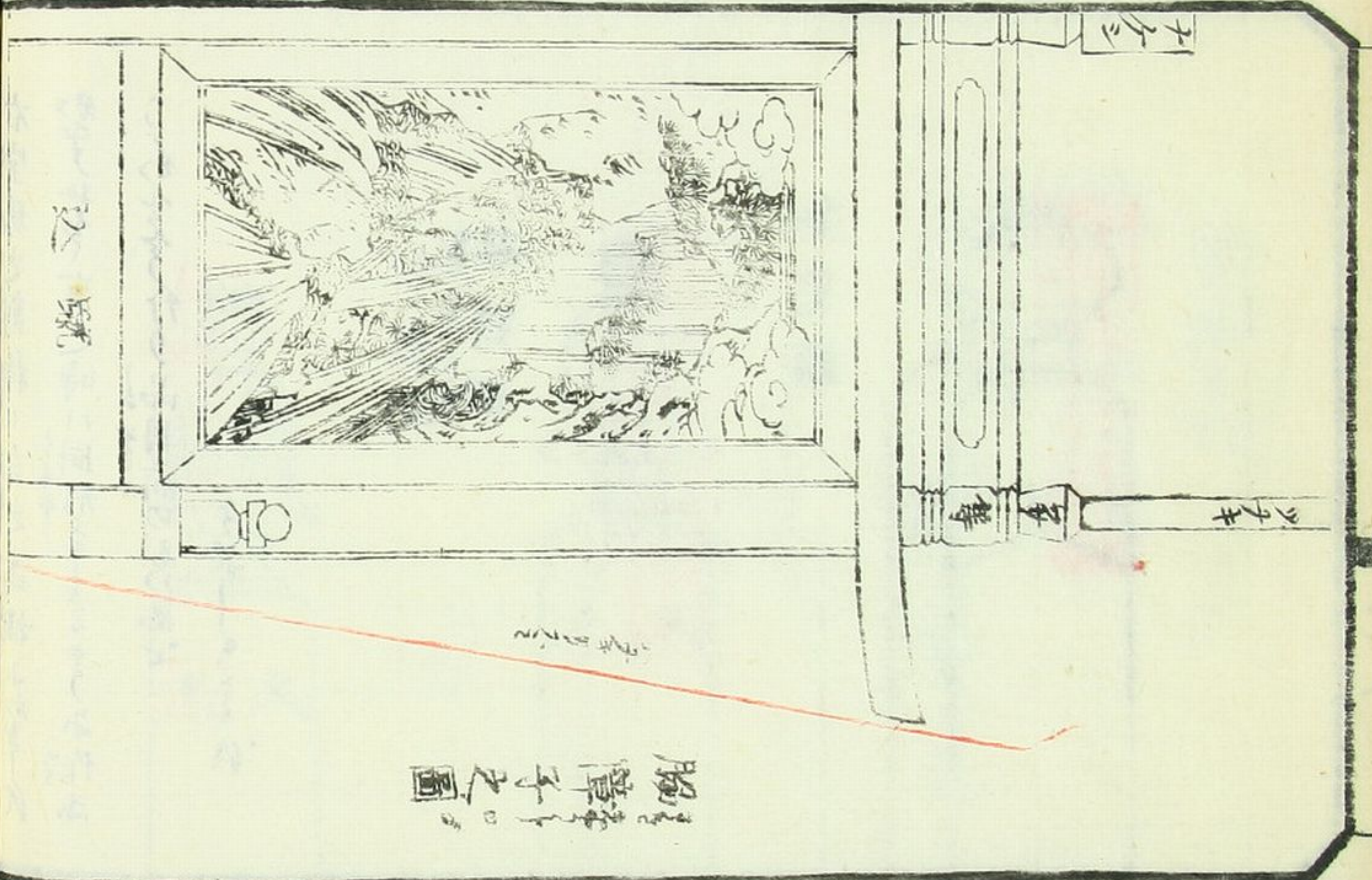
手抄一ッ

結綿頭



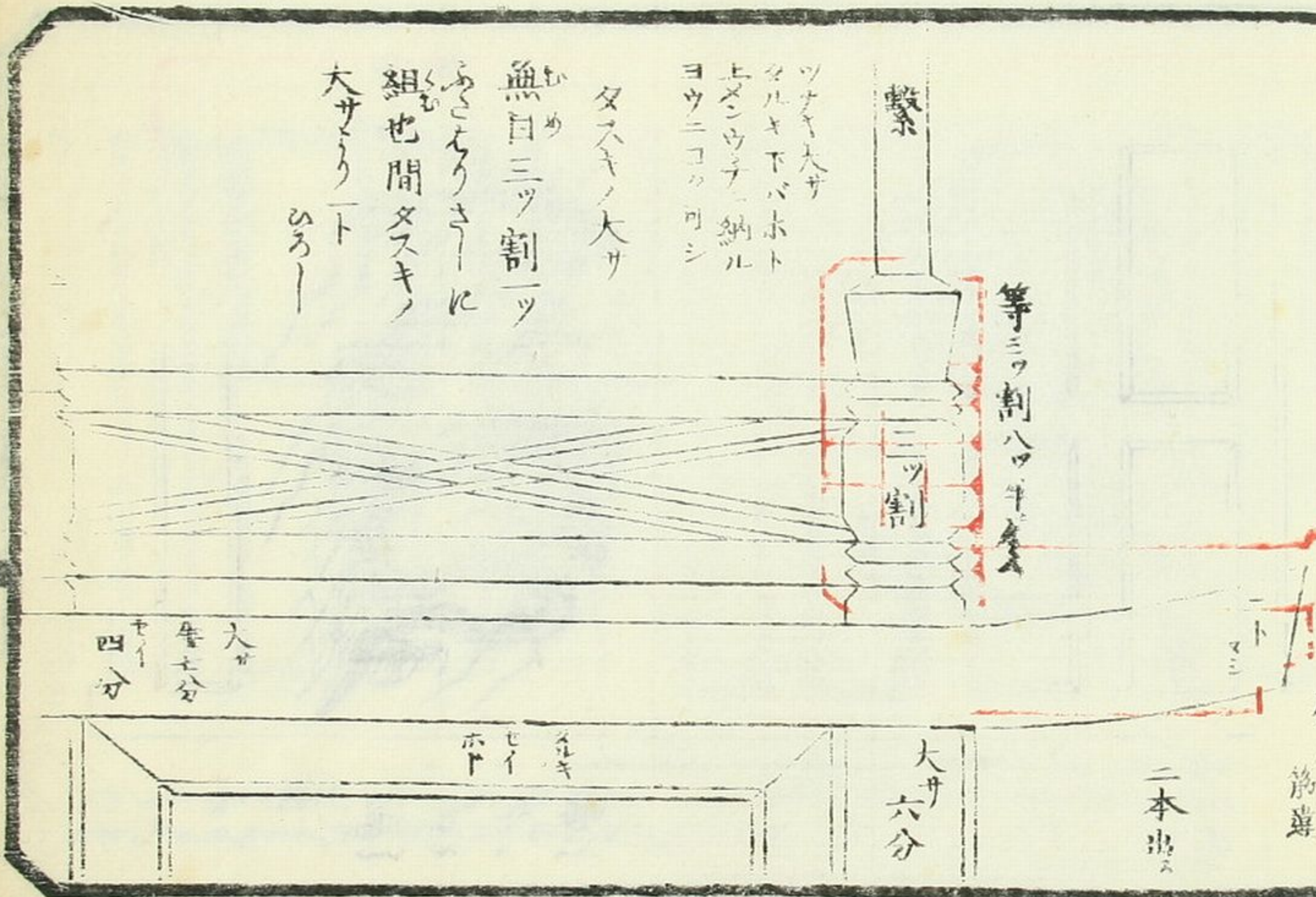
知兒頭





障子之圖

障子之割



ツナキ大サ
 タルキ下バホト
 上ダウチア納ル
 ヨウニコウカシ
 タスキノ大サ
 魚目三ツ割一ツ
 組也間タスキノ
 大サ一ト
 ひろー

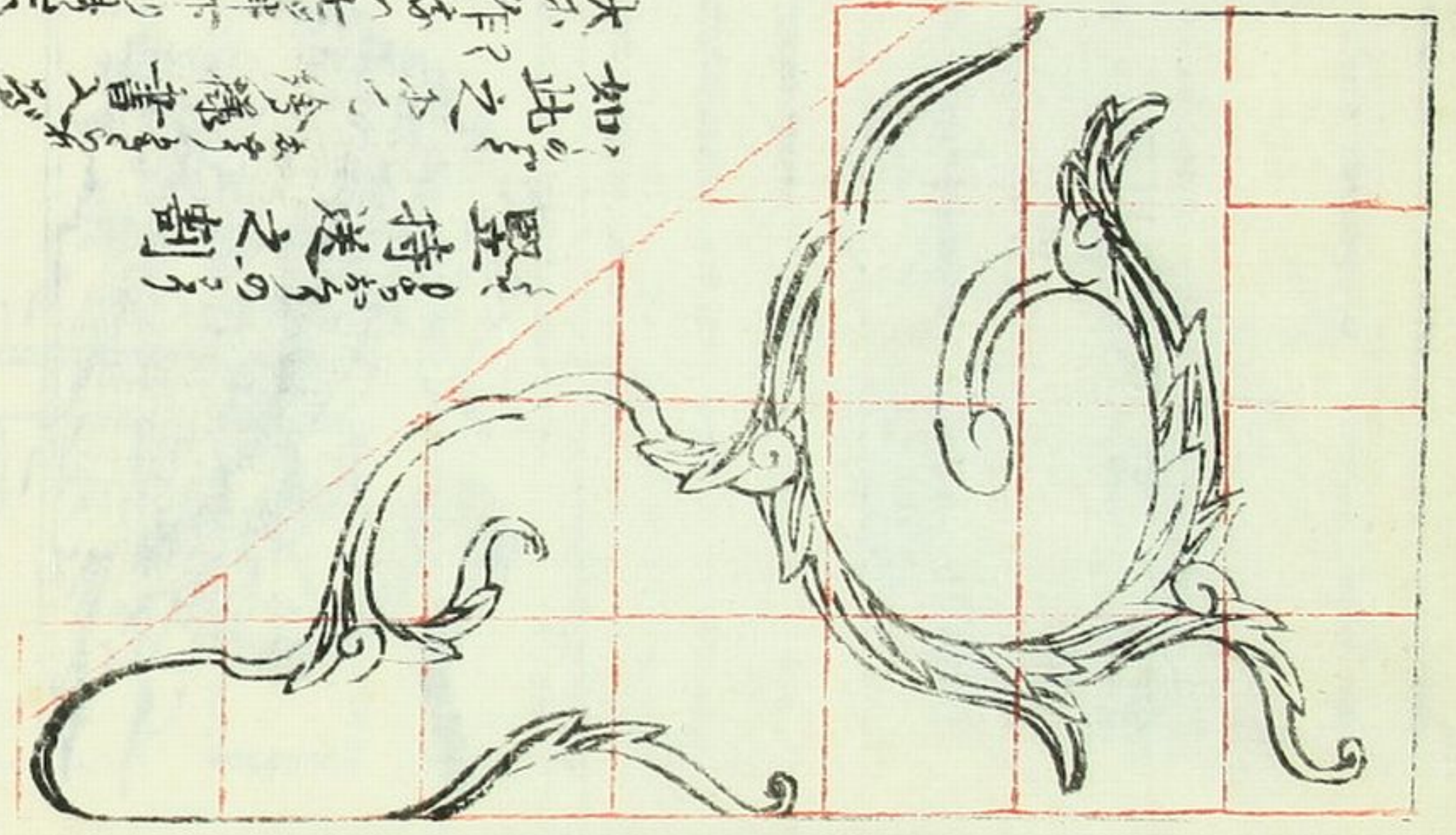
二本出

大サ
 六分

大サ
 七七分
 四分

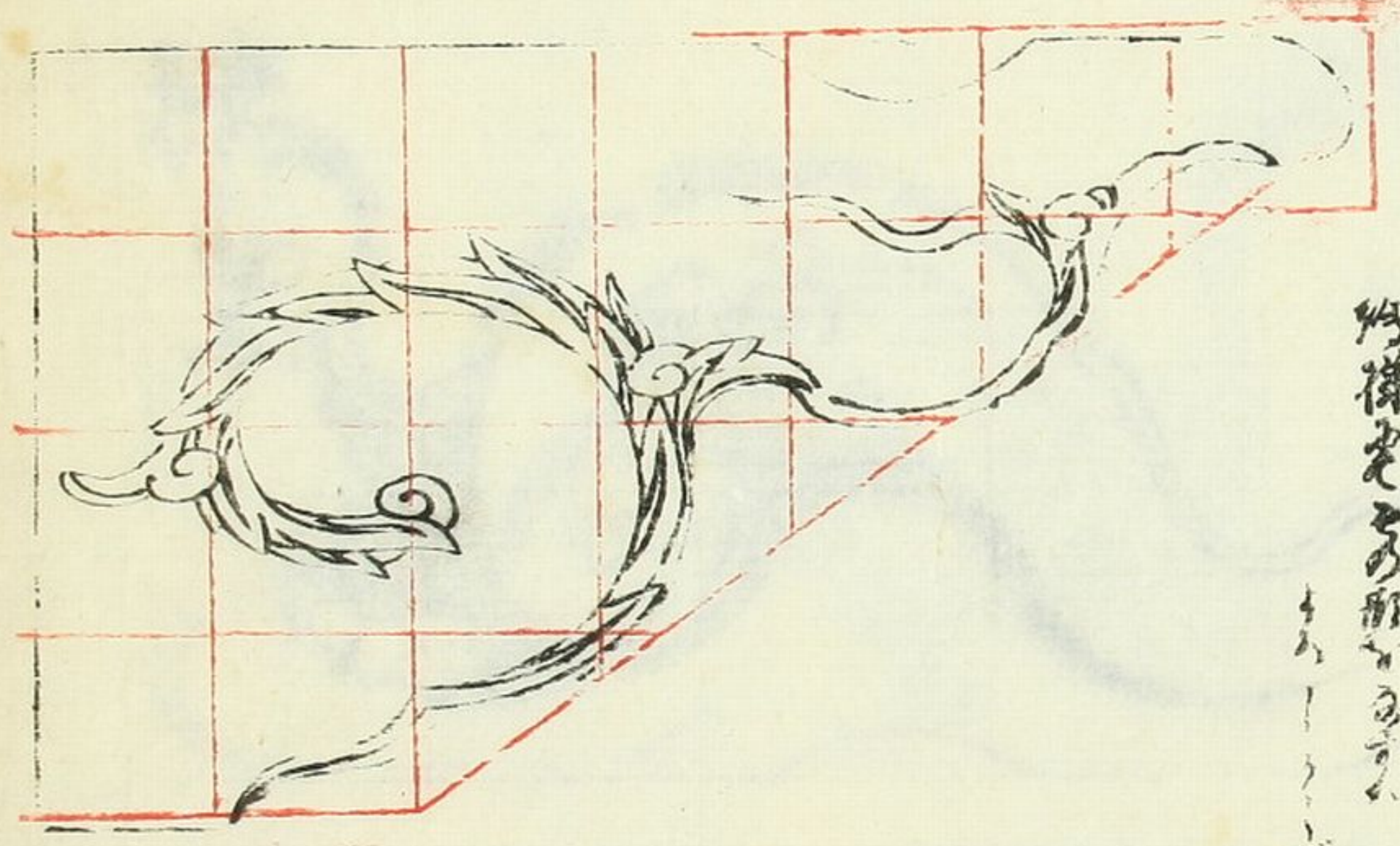
大正作法八十七号十一ノホニ八地
 如此之少ニ繪書入也

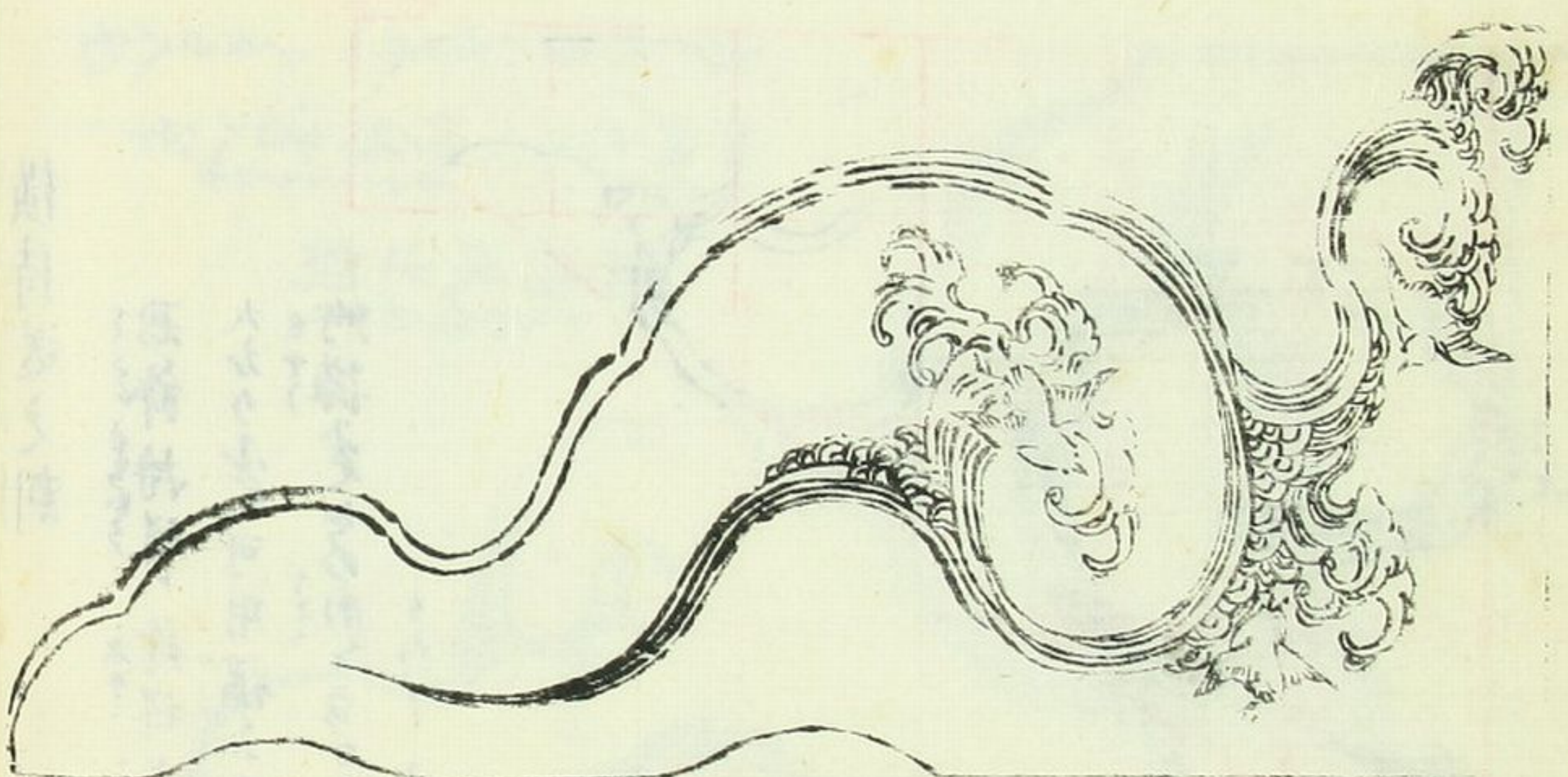
豎持送之割



横持送之割

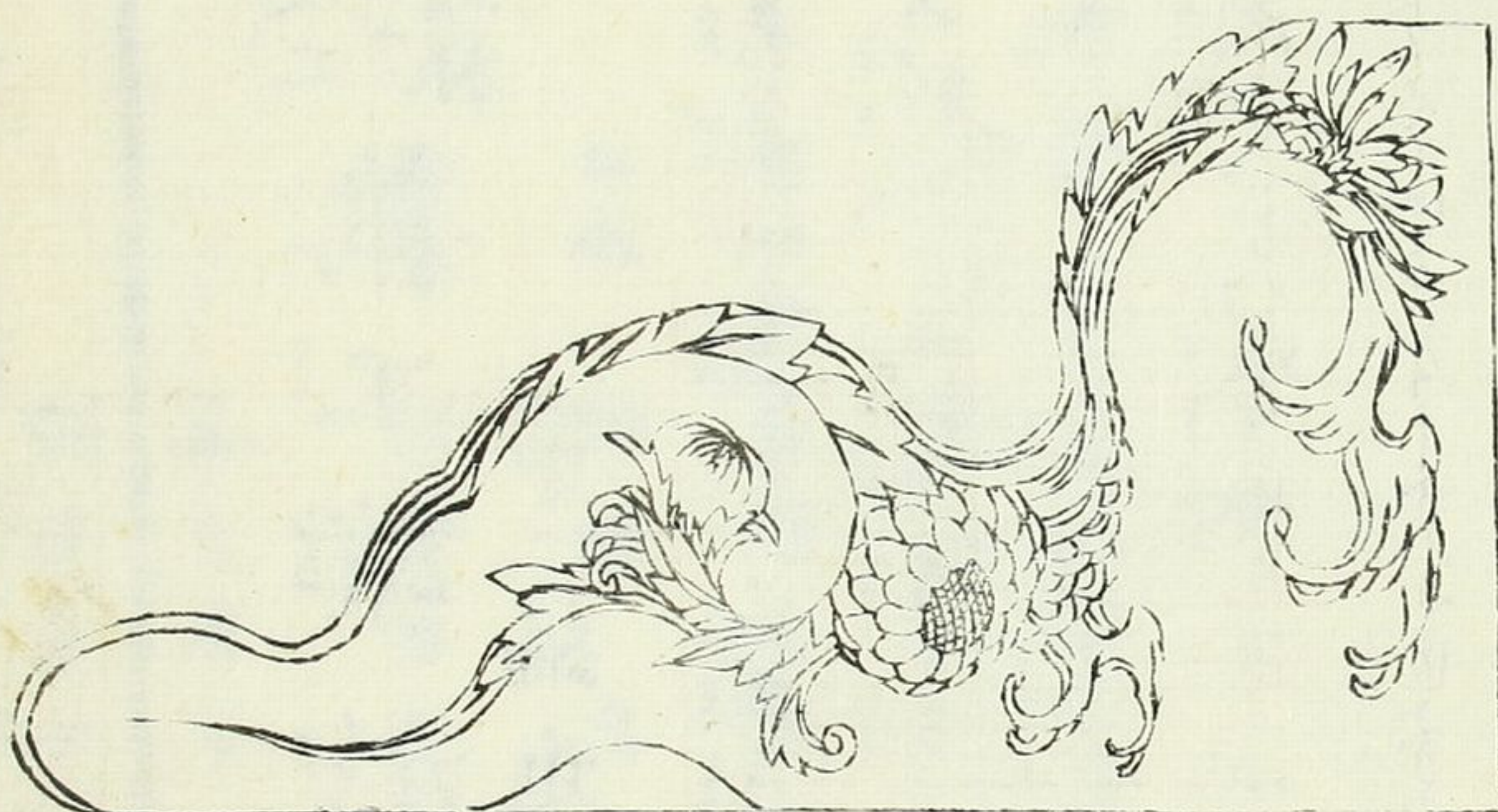
此新持送ノ繪様ニテ
 大ナリ定可ノ用様ニ作之
 所様定カル所ニテ





浪千鳥之圖

八ノリ割



菊水之持送

七ノ半下ノ之圖

東都

落合大賀範國圖



大工 雜工 雜形

第二編近刻

是の編は、凡そ、新築の建物と、古来の
の刻、及び、規矩、津、繩、を、有る、て、是
國、の、諸、方、を、造る、堂、塔、及、神、社、佛
閣、或、は、大、厦、の、構、を、造る、由、の、此、方、小
う、と、な、る、を、一、実、は、匠、家、の、有、意、此
上、なき、事、と、り、り、の、也、

嘉永三年庚戌孟春發行

明治九年四月廿六日版権免許

讓受 東京市京橋區南傳馬町
三丁目五
發行者 鈴木莊太郎

名古屋 永樂屋東四郎

山形 北條 忠兵衛

伊勢屋半右衛門

正 大 堂 七

須原屋伊 八

須原屋莊太郎

東京市京橋區南傳馬町三丁目五番地

